

平和の推進に関するアンケートについて（令和2年4月1日現在）

問1 広島市の平和行政について、感じていること（良い点・悪い点など）

(1) 平和関係団体	P 1
(2) 平和関係の有識者	14
(3) 市民	32

問2 平和の推進に関する条例の必要性や、その条例に盛り込む内容等について

(1) 平和関係団体	37
(2) 平和関係の有識者	42
(3) 市民	49

問3 平和の推進に関する自由意見

(1) 平和関係団体	53
(2) 平和関係の有識者	57
(3) 市民	64

問1 広島市の平和行政について、感じていること（良い点・悪い点など）

(1) 平和関係団体【A】

No	意見	備考
A-1	<p>被爆者の高齢化が進み、被爆体験を次世代にどう継承していくかということが喫緊の課題であるということは関係者共通の認識であり、既に様々な取組を進めておられるところです。</p> <p><u>近年広島市内・広島県内の児童生徒が原爆被爆を中心とした平和学習に触れる機会が減少してきていると感じます。その傾向は特に広島市以外の県内地域で顕著にみられます。被爆者の高齢化も進み、学校も忙しそうで平和教育が脇に追いやられているのか、学校現場で直接被爆体験を聞く機会も減っています。原爆資料館への社会見学など平和教育の機会を持つことについて、広島市から県内各市町、学校に対する呼び掛けを積極的に行っていただきたいと思います。また、他県からの修学旅行生への被爆体験講話事業にも引き続き取り組んでいただきたいと思います。</u></p>	<p>平和意識の醸成 (平和教育)</p>
A-2	<p>「2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進」と「被爆体験の継承・伝承その他」は、広島市として欠かせない事業と理解いたしますが、<u>「平和意識の醸成」の中身についてはもっと検討する余地があるかと存じます。</u></p> <p><u>近年、ノーベル平和賞の受賞者の顔触れに象徴されるように人権、環境の問題は平和と不可分です。関係部署が連携しながら、例えばヘイトスピーチの問題、人種差別の問題、気候変動の問題など幅広く取り上げていくことが、現在の世界情勢にもマッチしていくでしうし、より多くの市民を巻き込むこともできるでしょう。</u></p>	<p>平和意識の醸成 (平和の定義)</p>
A-3	<p>回答辞退 (本会の活動趣旨（広島市の観光振興）等に沿わないため)</p>	
A-4	<p><u>核兵器禁止条約を批准するよう市議会が国に働き掛けてほしい</u>と思います。例えば、議員全員が政務活動費で東京に出張し国会の議会議長に要請するとかはどうでしょうか。マスコミに対しても日本国民に対してもインパクトがあると思いますが。</p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p>
A-5	<p><u>被爆体験の継承・伝承の事業については、今後も充実させて実施していただきたい。</u></p> <p><u>若年層の方において被爆の状況に対する認識が薄れている現実があります。</u></p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他</p>
A-6	<p>回答辞退 (本会は、被爆者の健診等を実施する団体であり、平和関係団体とは一線を画しているため)</p>	
A-7	<p>—</p>	

No	意見	備考
A - 8	<p>今年の広島市の平和宣言について</p> <p>「核兵器禁止条約」を日本国政府に署名、批准する要望について、「被爆者」が要求しているからとの書き方になっており、松井市長は実質的に求めています。今年の7月の朝日新聞のインタビューでは、2017年9月に広島市議会が日本政府に条約の早期署名・批准を求める意見書を全会一致で可決したことに対しても「私も直接市民から選ばれている。なぜ市議会の総意を受けとめないといけないのか」と述べ、「政争の具にしたくない」と語っています。</p> <p>平和宣言は松井市長だけの宣言ではありません。広島市民の総意の平和宣言にすべきです。そのためには、被爆者や有識者から意見を聞く「平和宣言に関する懇談会」を民主的公正な幅広い組織に改革し、「平和宣言」を広島市民の総意で作りに上げる必要があります。</p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p> <p>(平和宣言)</p>
A - 9	<p>① 観光分野の開発は進められていますが、「広島平和都市建設法」に照らして見ると、被爆の実相を伝え残す物や建物を残し、伝えていく取組が弱いように見えます。積極的に被爆の実相を伝え、伝える取組を望みます。</p> <p>② 8月6日の平和宣言について、日本政府に対し核兵器廃絶と核兵器禁止条約の批准を、市長の意思として要請するのではなく、他人の言葉を借りて要請する内容になっていたように思います。市長自身の意思として要請をしていただきたいと思います。</p> <p>③ 平和文化センターの理事長は、カザフスタンのセメイ市を訪問され、核実験の実情や被爆の実相を把握し、核兵器廃絶の連帯を強められてきましたが、市長自身もセメイ市(セミパラチンスク)を訪問し、広島とセメイ市の連携を強められることを要望します。</p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他</p> <p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p> <p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進</p>
A - 10	<p>① 広島市の平和行政について</p> <p>2014年に広島市の決定した「被爆70周年の取組」は、その基本方針で「ヒト・モノ・カネ」を呼び込むことができるような街を目標とした。その取組として、被爆70周年記念事業について、・平和の発信力の強化、・被爆者援護と次世代への思いの継承、・文化・芸術による平和の体現を掲げたが一過性で底の浅いものとなったことは否めない。</p> <p>時どきの課題に対応はある程度やむを得ないとしても、戦後の取組などの振り返りを含め長期の視野で取り組むことが必要と考える。</p> <p>近年「ヒト・モノ・カネ」を重視することから、「平和の問題」より経済が優先されて「平和行政」が後景に追いやられているのではないかと懸念。そのため、2006年に策定した「平和記念施設保存・整備計画」が無視ないし軽視されている。</p> <p>平和記念公園エリア(検討された地域)に経済的効果ということから、遊興施設が市民の反対を踏みにじって強行された。</p> <p>これを「経済局」所管の「水の都推進協議会」が主導し、市民局の「平和推進課」はそれを追認する形になっている。(次ページに続く。)</p>	<p>(平和行政全般の問題点)</p>

No	意見	備考
A - 10	<p>② 平和行政推進について</p> <p><u>広島市の平和行政推進が、多岐にわたり多くの部署が関わることから煩雑さは避けられないとしても、できる限り統一的に進めるための体制と努力が必要である。縦割り行政の弊害が多くみられる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>「平和資料館長」に公園内のレストハウスの改修計画・運営計画について知らされていなかった。</u> ・<u>景観問題での検討と同時に景観を破壊する計画が容認されている。</u> 「おりづるタワー」はその一例。当初、当会への説明で、建設者は広島市と相談し、建物内に被爆資料の展示や、児童生徒のために話を聞く部屋なども設ける、景観にも配慮するとしていた。しかし、出来上がったものは完全な商業施設であり平和は申し訳程度となっている、景観上でも説明と全く違ったものとなっている。 ・<u>来広する児童・生徒などへの対応</u> 平和公園内の道路の管理について、「平和学習」で多くの児童生徒が集中する中、公園内の道路は休日は閉鎖はされているが、<u>平日は規制がなく危険である。時間等限っても一定の規制が必要と考える、事故の危険と隣り合わせの状況になっている。</u> ・<u>「平和学習」で「講話」など聞くための会場が不足している、広島市の所有する会場の最大限の活用と、他の団体の所有についても協力を求めて、会場の確保に努めること。</u> ・<u>集中する児童・生徒がスムーズに移動でき滞在時間を最大限に活用できるようにするため、バスの駐車場の確保と拡大が求められている。</u> <u>市民球場跡地の活用を含めて抜本的対策が必要と考える。</u> ・<u>広島からの発信について</u> <u>伝承者の養成と資格付与は、平和推進課が行い、広島市内への派遣は啓発課が行い、広島市以外への派遣は祈念館が行っている。連携は取れているのか。活動の成果と欠陥は共有されているのか。</u> ・<u>資料館などの資料、体験証言者、体験伝承者、ピースボランティアなどの使用する資料、それらが語る内容についての啓発課の対応について</u> 資料館のリニューアルや、伝承者等の拡大に伴うものなのか…… 資料館・啓発課は、展示資料や解説・講話の内容について、21項目にわたり、従来の見解や資料の「誤」を指摘し「正」を発表した。 それに対して、幾つかの質問や正確性についての疑問が出された、それについて回答を約束しながら二月もそのままになっている。 <u>学術的な正確性を追求する上で現在の体制は適切なものか、検討が必要ではないか。</u> <p>③ その他</p> <p><u>諸問題の検討を進める上で「有識者会議」の討議、パブリックコメントにとどまらず市民の意見交換の場も設けていくべきではないか。</u></p>	<p>(平和行政の体制)</p> <p>(平和記念公園(公園周辺の景観))</p> <p>平和意識の醸成 (平和記念公園(公園内道路の危険性))</p> <p>平和意識の醸成 (会場の不足)</p> <p>平和意識の醸成 (駐車場の確保)</p> <p>被爆体験の継承・伝承その他</p> <p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p> <p>(市民との意見交換)</p>

No	意見	備考
A - 11	<p><u>ヒロシマを伝えるために伝承事業や、平和に取り組む若い人を育てようとしていることがいいと思う。</u></p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他 平和意識の醸成</p>
A - 12	<p><u>被爆者が長く生きて、生き証人として語り伝えるために、相談所は被爆者の悩み、願いに寄り添い解決に努力してきた。高齢化、病弱化の中で被爆者の苦しみは一層深刻になってきている。</u></p> <p><u>広島市の被爆行政窓口との懇談で、前向きに対応していることは理解できた。しかし、客観的な「確からしさ」が認められないということで、手帳申請において却下するのではなく、市の裁量権を最大限に行使して被爆者に寄り添った判断を求めたい。是非審査基準に一考をお願いしたい。</u></p>	<p>(被爆者健康手帳申請)</p>
A - 13	<p><u>海外での原爆展の開催について鋭意努力され、アメリカなどで開催されていることは評価いたしますが、日本に次いで被爆者の多い大韓民国で開催されていないことを残念に思っております。最も戦争の被害を多く与えた韓国で原爆展を行い、核兵器の非人道性と地球と生きとし生けるもの全て、人類を滅ぼす恐怖の兵器であることを訴え、共に核兵器廃絶に立ち上がるべきと考えています。</u></p> <p><u>広島市は大邱市と姉妹都市縁組を行い、毎年交流を積み重ねてられています。長い間の努力で培われた信頼を活かし、大邱市で原爆展を開催することをお願いいたします。</u></p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (原爆展の開催)</p>
A - 14	<p>良い点 1950年に占領軍に禁止された時以外は継続して行っていること。</p> <p>悪い点 <u>平和行政の最重要のものである8月6日の式典について限って述べると、形式化し、式典化してしまっていること。</u></p> <p><u>最大の難点は、慰霊といい、追悼といっても死者に手向ける実質がない。無念のうちに殺されたものも、その後原爆症の恐怖に怯(おび)えて生きてきたものも、このような式典では、なぜ原爆を強制されたかのか納得できない。式典では、原爆を撃ち込んだ者への責任追及もなければ、謝罪要求もない。したがって、人道に対する罪に対して、被害者としての我々が補償の要求も行えない。アメリカは、原爆投下は100万人の兵士を救っただとか、更には日本人の命も救ったとさえ言う。これに反論しなければ、式典は慰霊ではなく、被爆者の怒りを「慰撫」する役割しかない。被爆者の怒りが隠蔽され、結果アメリカは核兵器を戦後世界支配の要に難なく据えることを許してしまった。当の被害者から何らの批判も受けないわけだから、後ろ髪ひかれる思いもない。それ以外に手段がなければ、核兵器使用は許されるとあらかじめ宣言されている。近年アメリカは、NRP(核戦力の見直し)で、躊躇(ちゅうちょ)なく使える核兵器開発を打ち出した。トランプ政権に至っては米軍統合参謀本部報告書『Nuclear Operations』で核原野での戦闘の継続を督励している。アトミックソルジャーだ。被爆者が放射能によって殺され苦しめられた74年間の無視だ。(次ページに続く。)</u></p>	<p>(平和記念式典の印象)</p>

No	意見	備考
A - 14	<p>広島への米軍の核攻撃は、アジアの覇権を狙う米軍との帝国主義戦争の最悪の帰結だ。戦争があつて核兵器が使用される。核兵器が戦争と関係なく使用されるわけではない。にもかかわらず、この数年の平和式典では、アジア侵略戦争への反省の言葉すらない。憲法前文の「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起らないようにする決意がない。国家の戦争政策によって、原爆投下の悲劇を強制された広島が沈黙して良いのか？集団的自衛権行使合憲論から、さらには9条への自衛隊明記で国防義務が強制される。その先には、再び日本社会が物言えぬ戦争国家に転落する地獄が見える。侵略戦争の最も凄惨（せいさん）な結末を強制されたヒロシマは国策としての戦争に抗（あらが）うべきだ。でなければ、「戦争中のことだから気の毒だけどやむを得ない」発言の容認となる。この国体護持の悪意たる天皇発言は、戦後の日本政府を洗脳し続け今日に至っている。戦争中だからやむを得ないは、核兵器合憲論者の安倍政権において何を意味するのか？日本独自の核武装ではないのか？プルトニウムの備蓄でそのことを世界中が疑っている。</p> <p><u>こうした欺瞞（ぎまん）的な式典を行っているからこそ、式典の発信力は無力化し地に落ちた。それを象徴するのが、日本政府が提出した国連決議案ではないか！</u></p> <p>核使用の非人道的な結末に対する「深い懸念」という文言の削除は被爆者と死者への冒瀆（ぼうとく）だ。深い疑念がないからこそ、安倍首相は核兵器禁止条約にも署名、批准しない。それに対して、広島市長は怒りの言葉すら発しない。その結果、世界に訴えるヒロシマの反核の力は萎えてしまっている。平和式典の在り方を根本的に問い直すべき時に来たと思う。</p>	<p>(平和記念式典の印象)</p> <p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p>
A - 15	<p>被爆体験の継承、平和意識の醸成のために、8月6日を休日とし、学校の「8・6登校日」で平和学習を行うなど、8月6日の位置付けをより明確にするよう要請します。</p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他 平和意識の醸成 (8月6日)</p>
A - 16	<p>ローマ教皇の来広で、改めて、平和について、広島が心一つにできたと思う。</p> <p>たまに、大きなパフォーマンスがあると、若い人達にも平和への思いが浸透するメリットがあると思う。</p>	<p>平和意識の醸成</p>
A - 17	<p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和首長会議の積極的な推進をしており、リーダーシップを発揮されていると思います。 8/6 平和式典において、広島市長の「平和宣言」で日本政府に向けて「日本政府には唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約への署名・批准を求める被爆者の思いをしっかりと受け止めていただきたい。核兵器のない世界実現に更に一步踏み込んでリーダーシップを発揮していただきたい」との文面は、安倍政権に対する姿勢を正す言葉として評価できます。 <p>(次ページに続く。)</p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (平和宣言) (核兵器禁止条約の批准への取組)</p>

No	意見	備考
A - 17	<p>要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被爆の実相を伝えるために、<u>国内各都市部での被爆資料の展示を積極的に展開してほしい。</u> ・<u>平和学習を積極的に展開してほしい。</u> ・<u>戦争被爆の実相を風化させない取組の強化をしてほしい。</u> 	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (原爆展の開催) 平和意識の醸成 (平和学習) 被爆体験の継承・伝承その他</p>
A - 18	<p><u>ヒロシマはいかなる核も戦争も戦争のための武器も否定する。それを平和行政の根本としなければならないと思います。</u></p> <p><u>政府に核兵器禁止条約の批准を求めることもまた、平和行政の根本でなければならないと思います。</u></p>	<p>(平和行政の根本) (核兵器禁止条約の批准への取組)</p>
A - 19	<p>① <u>広島市の行政は、核兵器の廃絶と戦争のない平和な世界の実現に向けて日夜を問わず素晴らしい仕事をしてくださっていると感じています。</u> <u>その中で「核兵器廃絶に向けた国内外の世論の形成」でお願いがあります。</u> <u>それは「核兵器禁止条約」に関する要望です。式典で読み上げられる広島市の平和宣言です。2019年8月6日の式典では明確に核兵器禁止条約に触れていただき安堵いたしました。</u> <u>核兵器の開発・所持・使用を禁じ、世界の各被害者の救済に触れた核兵器禁止条約こそ私たちが長年求めてきたものです。</u> <u>残念ながら、ローマ教皇のメッセージを否定するような「アメリカの核の傘の下での日本の安全保障」というコメントを菅官房長官に発表させた安倍内閣は、核兵器禁止条約を認めようとはしていません。</u> <u>日本国民のみならず世界、取り分けアジア諸国に不安を抱かせる、このような日本政府の姿勢を変えるためにも、被爆地広島</u> <u>の首長として、広島市民を代表して核兵器禁止条約の批准を求める、もっと力強い宣言を発していただきますようお願いいたします。</u></p> <p>② <u>青少年の育成に関して、派遣する高校生を公募するようお願いいたします。</u> <u>特定の高校の生徒が派遣されているように感じています。</u></p> <p>③ <u>被爆体験の継承・伝承その他については、伝承とはどのようなものか</u> <u>の内容を、もっと多くの被爆者に開示して意見を聞いて進めてくださる</u> <u>ようお願いいたします。</u></p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (国内外の世論の形成) (平和宣言)</p> <p>(核兵器禁止条約の批准への取組)</p> <p>平和意識の醸成 (青少年の育成)</p> <p>被爆体験の継承・伝承その他</p>
A - 20	<p>○ <u>8月6日の午前の時間の中に「被爆時を思い・慰霊する」の時間を取</u> <u>りたい。</u></p> <p><u>例えば、8:45～9:00の短い時間でもいい。少なくともその時間には、</u> <u>拡声器使用、デモの行動を平和公園内、及びその周辺では行わない。</u> <u>心の中に被爆時の状況や人々のことを想起し、祈りの時間とする。</u> <u>各町内でも賛同してもらえるところでは全市的に実施する。</u></p> <p>○ <u>被爆死者89,025人の新聞報道を見た。</u> <u>いわゆる、14万人±1万人からの進展。よくも調べ続けていたものだ。</u> <u>よくも公表したものだと敬意をもって読んだ。ただ、+アルファは絶対</u> <u>にある、と思っている。(次ページに続く。)</u></p>	<p>(8月6日)</p> <p>(原爆による死者数 S20年12月まで)</p>

No	意見	備考
A - 20	<p><u>その、+アルファーがああ時の原爆被災の実態だと思っている。その辺りも考慮した数であってほしいと思っている。</u> (例えば、本会員の中には、姉を荒神町国民学校大須賀分散授業所で亡くしている。同じ所で中島君という2年生も即死している。しかし、記録では、分散授業所のことはカウントされず、荒神町国民学校死亡児童数0となっている。)</p> <p>○ <u>市発行の「原爆被爆者対策事業概要」には、「平和関係団体名簿」として150を超える団体名が載っている。この団体の中から各1名招待し、8月6日の平和式典に参列(席を設ける)してもらおうというのはどうだろう。もちろん、参加・不参加は自由。</u></p> <p>○ <u>被爆者の体験証言活動に助成を</u> <u>現在、養成された伝承者や祈念館の方の朗読者へは、県外出張等の旅費、宿泊費等、助成されていると聞く。しかし、被爆者の証言活動に対してはない。被爆者の県外での証言活動では、招待側の旅費・宿泊費負担である。国がやってくれないところであるが、広島市ではなんとかできないものかと思っている。被爆体験者の残り時間も少なくなったこの頃、助成してもらえぬものか。国がやらないのなら広島市が、などと思っている。</u></p> <p>○ <u>原爆供養塔及びその周辺の再整備を</u> <u>戦後間もなくの頃、供養塔の前に集り、祈り、線香の立ち込める中、手を合わせ泣いた。その光景を忘れることができない。いわば核を考える原点であるようにも思っている。何万の遺骨も収められていると聞く。が、昨今、見るたびに重きを置かれていないように、忘れられようとしているかのように感じる。芝の管理を十分に。周辺部の再構築及び広報をと願っているところである。</u></p> <p>○ <u>70年間は(75年間は)草も木も生えぬという風評の中、市中に住み続け、街を再生していった人々(戦後の多くは被爆者)の姿や努力をもっと検証し、展示してもいいのではないかと思っている。広島を訪れる人々の中には、あの焦土の中、何の力が、どうやって広島を再生していったのかを知りたいと思う人も多いようである。行政もさることながら、市民の視点で。</u></p> <p>○ <u>教育活動での継承・活動の継続を</u> <u>原爆の惨状について、意外と知らぬ人、触れたくないと思っている人は多いようである。広島市でも、児童・生徒の中にはまたかという声もあるようである。本会会員の一人は、「県外の人には被爆との言葉すら知らない人がいる。(次ページに続く。)</u></p>	<p>(平和記念式典の参列者)</p> <p>被爆体験の継承・伝承その他 (証言活動への助成)</p> <p>(平和記念公園(原爆供養塔))</p> <p>(広島の復興の検証)</p> <p>平和意識の醸成 (平和教育)</p>

No	意見	備考
A - 20	<p>私も県外から広島に住むようになり、原爆、被爆、ケロイドも知り、気付かされ考えるようになった」という。</p> <p>昨今、広島を訪れる修学旅行生や外国人が増えているというのは喜ばしいことである。が、全国、全世界的にはどれくらいのものであろう。広島市で育つ子どもたちにはしっかりと、と願うところである。</p> <p>現在の広島市教委の取組には、賛同し、協力していきたいと思っている。例えば、8月6日の式典での子ども代表の宣言には心打たれている。また、全6年児童に「平和についての作文」を書かせるというのも、教育的に素晴らしいことである。市としても、是非継続して欲しい。</p> <p>○海外を旅行して驚くことがある</p> <p>スイスを旅している時、核シェルターの普及率 100%の国です、と聞いて驚いたことがある。台湾や韓国を旅した人の中には、防災訓練日に出くわし、サイレンが鳴り響き、観光客も避難させられたという話が出る。数年前だが、隣国のミサイル発射予告があり学校児童の避難のことで緊張感が走ったことがある。「熱線を防ぐ壁の下に」、「窓ガラスは飛び散ってくる凶器です」などと話したことがある。「じゃあどうやってどこへ子どもたちを避難させれば…」笑い話のようだけど真剣に向き合った。そして、皆忘れ平和の今を享受している。</p> <p>広島も長崎も警報も鳴らない中で被災した。</p> <p>核兵器廃絶は皆の願いである。70年前から共通の願いである。が、核保有国の状況に動きがないのも現実である。近隣国の様相も続いている。</p> <p>万が一に備えた考えも言い合っている時になっているのではあるまいか。昭和20年8月11日、新潟県知事は(原爆投下第3目標都市だった)市民を全員市外に退避させている。</p> <p>私たちは、これを英断だったと思っている。</p>	<p>平和意識の醸成 (平和教育)</p> <p>(万が一の場合の備え)</p>
A - 21	<p>世界で初めて原爆が投下された被爆地として、世界に平和の尊さや原爆の恐ろしさを伝えていくことは、今後も継続して欲しい。</p> <p>被爆者の高齢化に伴い、被爆体験を直接伝えることが難しくなっているが、被爆体験伝承者も毎年数十名養成されており、今後被爆の実相を伝える担い手として注目されている。被爆体験伝承者の話はとても臨場感があると好評であり今後も一層力を入れてほしい事業である。</p> <p>また、次世代に向けた平和意識の醸成として、子どもたちに平和教育の推進や平和の集いなどの開催など、被爆地ヒロシマに育つ子どもたちが平和について意識を高めることはとても重要である。</p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他</p> <p>平和意識の醸成</p>
A - 22	<p>明年被爆75年を迎え、被爆者の方より直接体験を語っていただくことが更に難しくなっていくため、今以上に体験の継承・伝承が大切になってくると思います。</p> <p>特に、伝承者の養成は必要不可欠であり、とても意義深いと思いますので、更なる充実をお願いしたいです。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他</p> <p>平和意識の醸成</p>

No	意見	備考
A - 22	<p>また、平和な世界、核兵器なき世界を実現するために、<u>修学旅行を通して、これからの未来を作る学生の皆さんに、実際に広島を訪れていただくこともとても大切だと思います。</u></p> <p><u>今後とも是非誘致活動に力を入れていただきたいです。</u></p> <p>2018年2月1日付の中国新聞に、「関東圏の学校への聞き取りで、<u>広島を修学旅行先に選択していない理由の一つに、事前の平和学習の難しさがある。このため、関東圏の教員を対象に、平和学習の指導法などを説明する講習会を開催。」とありましたが、是非事前学習とともに、継続した平和学習をしていただけるように取り組んでいただければ良い</u>などと思います。</p>	<p>(修学旅行の誘致)</p> <p>(平和学習)</p>
A - 23	<p>良い点</p> <p><u>広島市の平和行政は、核兵器廃絶に向け絶えず努力が続けられている点は素晴らしい</u>と思います。私たちがよく利用させていただく<u>平和文化センターや資料館、またそこで働くスタッフの方々は、献身的に核兵器のない平和な世界を作るための実践をされている</u>と思います。</p> <p>また、<u>広島市の平和教育も実践的で、子どもたちが子どもたちなりに平和の在り方を感じ取れる取組を教育委員会などで実践されている</u>と感じています。(こども平和サミットなど)今後もこの活動を更に充実させていくことが重要だと思います。</p> <p>悪い点(悪いかどうかは一概には言えませんが・・・)</p> <p>平和首長会議も充実し、ある一定の成果があり加盟も増えてきていることは事実です。</p> <p>2019年には163の国と地域、7,847の都市が加盟する大規模なものになりました。それは核兵器廃絶に向けて賛同する都市ネットワークを構築し、世論形成をしていくことに関しては重要な役割を担っていると思います。<u>松井市長も核兵器廃絶に関しては平和首長会議でしっかりやっていくことを常に言われていますが、果たして広島市の役割はそれだけでいいのでしょうか。広島市がやらなくてはならないことは、長崎市とともに唯一の戦争被爆都市として、政府に核兵器禁止条約の批准を強くアピールすることではないでしょうか。「平和首長会議もする」、「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める」この2つを広島市は推進すべきことであると感じます。</u></p> <p><u>核兵器禁止条約制定から2年たって、市民団体からの要望書などもあり、ようやく今年の8月6日の広島市長平和宣言に「核兵器禁止条約の批准」についての文言が加えられたことは良かった</u>と思います。政府に対して、ヒバクシャ国際署名の批准を強く要請できるのは、広島市・長崎市においてほかにありません。<u>ヒバクシャの方々の思いに対して、広島市の強いアピールを希望します。</u></p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進</p> <p>平和意識の醸成(平和教育)</p> <p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進(核兵器禁止条約の批准への取組)</p>

No	意見	備考
A - 24	<p>・「平和意識の醸成、被爆体験の継承・伝承その他」について</p> <p>被爆体験の悲惨さや、平和の尊さを強調した感情的側面の強い取組だけでなく、被爆者が現在置かれている状況について、例えば健康被害や経済的状況、被爆者の原爆症認定の問題などを周知するような取組を行っていただきたい。過去の問題としてのみ「継承」するのではなく、現在、被爆者が抱える問題や矛盾をみんなが学び合える平和行政を行ってほしい。原爆投下は最大の人権侵害であること、その人権侵害による被害は今なお経済的、身体的側面で続いていることを学ぶことで、平和に対する意識はより強くなると考える。</p>	<p>平和意識の醸成 (被爆者が抱える問題の周知)</p>
A - 25	<p>・本団体では各国から年間数十人の医師等研修生を受け入れており、研修生には必ず、平和記念資料館及び平和記念公園を見学してもらうこととしている。</p> <p>・平和記念資料館への依頼により、被爆者から直接被爆体験を聴くことは、海外からの研修生にとって当時の状況を追体験することができる、良い機会である。</p> <p>・平和記念資料館は、平成31年4月のリニューアルオープンにより、資料館の展示内容が充実したが、世界からの関心も高く、その果たすべき役割も大きいことから、更に内容を改善、充実させてほしい。</p> <p>・特に、在外被爆者の援護や、オール広島で行う放射線医療分野での国際協力は、被爆地広島が、被爆者の尊い犠牲と協力の下に蓄積された被爆者医療と研究の成果を用いて行った最初の国際協力の取組であることから、新たな取組を紹介するなど、引き続き充実させてほしい。</p>	<p>平和意識の醸成 被爆体験の継承・伝承その他</p> <p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p> <p>(在外被爆者の援護等の国際協力)</p>
A - 26	<p>(1) この間の広島市の平和行政は、被爆者や市民の願いに寄り添っていないのではないかと疑問に感じています。</p> <p>① 平和公園とその周辺の整備に関わって、例えば「かき船・かなわ」の移設問題。世界遺産「原爆ドーム」の直近であり、元安川を挟んで対岸が平和公園という場所に、飲食・宴会の場所を設けることについて、何の痛みも感じていない。</p> <p>しかも、ここは高校生が被爆瓦を発掘したその記念碑(原爆犠牲ヒロシマの碑)のすぐ前です。多くの人が原爆で悲惨な死を遂げた場所=鎮魂の地である、ということを忘れていないのでしょうか。</p> <p>② 元安橋東畔のカフェ「ポンテ」も問題で、今ではアルコールも飲めるようになっており、飲食のスペースも徐々に広がっています。郵政労働者の碑が目前にあり、その場所に設置する感覚も疑います。</p> <p>③ 毎年11月になると、平和大通り沿いがイルミネーションで彩られますが、かつて原爆ドームの所や、「原爆犠牲ヒロシマの碑」の所まで趣味の悪いイルミネーションが飾られたことがあります。この発想が今も続いていると思います。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>(平和記念公園 (公園とその周辺の現状))</p>

No	意見	備考
A - 26	<p>④ 「おりづるタワー」について。当初被爆者団体への説明では、建物内に被爆資料の展示なども行うなどとされていましたが、完成したものは、高い入場料を徴収する上に、折りづるを折って投げ入れるにもまた高い料金をとられる。その上、1階は土産物店が幅をきかせており、完全に「観光のため」の施設になっています。これでは全国・世界から来た人々もがっかりするでしょう。</p> <p>「おりづるタワー」についても一つ言えば、「エソール広島」の建物がまだ十分耐用年数があり、耐震工事も済んだばかりなのに、知事の意向で外国資本のホテル用地にされてしまい、その機能が一部こちらに移設されましたが、安価な貸会場がまた一つ無くなってしまったのは困る人が多いのではないのでしょうか。</p> <p>(2) <u>最近の広島市の一連の動きをみると、経済関係の部局の力が強く、先導してこうした動きを作っており、平和推進担当部局がしかるべき提言をできていないと思われます。「観光客を増やす」という視点だけで平和行政を進めてよいのでしょうか。</u></p> <p>(3) <u>広島市の平和行政は長崎市に比べると、いつも遅れを取っていると思います。「平和宣言」に、国に対して「核兵器禁止条約」への参加を求める文言は、長崎市が一昨年の宣言に入れました。広島市は、被爆者団体や市民団体の声を受けてようやく今年の宣言に、「被爆者が願っている」という間接的な言い方で入りました。しかしこれでは、広島市としての意思が曖昧で、国に対して「及び腰」です。はっきり広島市(市長)が主語になった宣言にするべきです。</u></p> <p><u>また、2017年に「核兵器禁止条約」が国連で成立したとき、長崎市はすぐに市庁舎に歓迎の垂れ幕を掲げましたが、広島市は女性団体の申し入れに対し、これを拒否しました。大変残念なことでした。</u></p>	<p>(平和行政全般の問題点)</p> <p>(長崎市との対比)</p> <p>(平和宣言)</p>
A - 27	<p><u>高校生平和大使のような青少年育成を推進していかれることが大切だと思います。絵画の作成等の活動と共に伝承講話等も進めていただきたいと思います。</u></p>	<p>平和意識の醸成 (青少年の育成)</p>
A - 28	<p>回答辞退 (事務局の移転等により対応困難であるため)</p>	
A - 29	<p>(1) <u>被爆の実相を、後世に、また、広く世界に伝える行動は、極めて重要である。成果を上げてきていると考える。</u></p> <p>(2) <u>一方、被爆の実相を土台として、核軍縮・核拡散防止の停滞を打破し、核軍縮・核拡散防止を促進する具体的な諸行動を拡充・強化する力には、広島市の平和行政はなり得ていない。</u></p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他 2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進</p>
A - 30	<p>(1) <u>被爆地広島としての役割・責務を感じての行政であってほしいのです。</u></p> <p>世界に向けて平和を発信する広島であるには、具体的にどう進めていけば良いか考えなければなりません。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>(平和行政の在り方)</p>

No	意見	備考
A - 30	<p>現在、被爆の実相は、かなり取り組まれ、知ることができます。感性に訴える力あるものもあります。しかし、広島には一方、アジア侵略の拠点となった加害の広島の姿がありました。その加害とあの被害がどうつながっているのか広島は語らなければなりません。</p> <p>広島は、明治以降、軍都として政府の武力による侵略で領土を広げる富国強兵政策に呼応し、官民一体となって協力したのです。広島は、日本の対外侵略戦争とともに発展・繁栄していったのです。その先にあるアジア諸国の人々の苦しみ・悲しみを想像することなく、罪を感じることもなく進めていったのです。本質を見抜き真実を見極める力を持っていなかったのです。</p> <p>広島から平和を発信する場として、被害の前の広島を是非知ってほしいです。過去としっかり向き合う場が必要です。本当の平和を求めるのなら、未来を切り開くのなら、そういう場を作ってほしいです。広島の持つ過去を通してあの日を見つめ、未来を考える場の提供を行政に求めます。</p> <p>(2) 広島原爆資料館には、唯一の附属施設として、江波二本松に「シュモーターハウス」が置かれています。</p> <p>皿山南麓にたたずむこの施設は、主として、原爆投下に心を痛め、広島の復興に力を尽くした諸外国の人たちの思いと行動を知ることのできる場として、重要な役割を担っています。</p> <p>訪れる方々から、小さなこの建物に気付かなかった、見付けるのに苦労したなどという声が寄せられています。何度か各方面にも看板の設置などをお願いし、具体化への取組も了承されましたが、全く進められていません。平和行政の一環として、大切な意味のある仕事であると考えています。</p> <p>(3) 市民運動の立場からヒロシマを伝えることに努力してきましたが、中高生に伝えることはとても難しいけれどもやりがいがあるとも感じています。広島県外の中高生は、よく学習してこられるために伝えやすいこともあります。</p> <p>しかし、広島に住む中高生や教師の方々と話すと、余りにも地元のことを知らないことを痛感しています。児童や生徒さんが知らないことにはまだ我慢ができますが、教師の方々が余りにも関心が寄せられていないことには驚くことが多々あります。平和教育を毎年、行われていると思いますが、日常からヒロシマを伝える姿勢が大切であると思います。</p> <p>そのためには、全ての教師が軍都広島から現在までの歩みを徹底的に教育される必要があります。多くの子どもの命を奪われることになった「核」の脅威を、自分のこととして伝える感性を養うような研修をすることに取り組んでほしいものです。</p> <p>県外の教師の不断の努力に圧倒されることが多いです。 (次ページに続く。)</p>	<p>(広島の前爆の実相)</p> <p>(広島の過去を通して未来を考える場の必要性)</p> <p>(シュモーターハウスの周知)</p> <p>平和意識の醸成 (平和教育)</p>

No	意見	備考
A - 30	<p><u>1985年から1995年まで東京から広島に居を移して、「修学旅行を広島、長崎に」と呼び掛けた江口保さんの働きを教師の方々は学ぶべきです。</u></p> <p>江口さんは、中学校の数学教師を早期退職してまで活動されました。1998年に亡くなられましたが、その後、谷本清平和賞を受賞されました。</p> <p>そのことをご存じの広島市の職員がどのくらいいらっしゃるでしょうか？</p> <p>広島に住む者としてこの働きを支えたいと思いましたが、思うようになりませんでした。</p> <p>広島の行政に対して、かなり勇気を出して江口さんは意見を出されたと思います。</p> <p>江口さんの働きを見て、多くの被爆者が証言をされるようになったのではないのでしょうか？</p> <p><u>学校教育の中で、特に教師への研修の充実を願うものです。</u></p>	

(2) 平和関係の有識者【B】

No	意見	備考
B - 1	<p>広島ほど、平和の追求のために時間、お金、エネルギーを費やす都市を、私は他に知らない。このことにより<u>広島は、世界の平和活動家たち</u>の間で、非常に一目置かれる存在となった。</p> <p><u>「ヒロシマ」は、世界で最も知られた地名の一つである。その知名度と原爆の威力のために、世界中から訪問者は増え続けている。また、広島のおもてなしの心は素晴らしいものである。特に、ピースボランティア他、学生を含む多くの市民が、平和公園で平和について外国人に話をすることが高く評価されていると、多くの人から聞いたことがある。</u></p> <p>佐々木禎子さん、原爆の子の像、そして<u>広島や長崎に折り鶴を送る国際的な動きは、両市にとって、また平和運動全般において、大変貴重なことだといえる。市は、修学旅行団体を誘致し受け入れるということを大変うまくやっている。秋葉市長は、20年分の折り鶴を展示できる巨大な折り鶴施設を造りたいと言われていた。それはやり過ぎだとしても、せめて、学生やその他の人々が寄贈してくれた素晴らしい折り鶴の中から、特に秀でたものを市が展示するスペースを設けたら良いのではないかと思う。そうした展示施設はすぐに人気の場所となるだろう。</u></p> <p>最大の問題は、<u>広島は核兵器廃絶へ向けての運動において、その潜在能力を出し切っていないということだ。75年間、広島は核兵器廃絶の必要性を説いてきたが、この闘争において、本当に必要なことをしてきたとは言えない。今や情報化時代の中、そして気候変動という新たな脅威も加わった中、広島は、これまでずっと説いてきたものの、生み出すことはできなかった世界的な運動を進めることができるはずであり、進めるべきである。</u></p> <p>被爆者は次第に亡くなっていき、日本政府は米国や核の傘におもねる姿勢を鮮明にする中、<u>広島が効果的なことができないのは、恥ずかしいことだ。国連の人々がよく問い掛けていることだが、広島と長崎、そして特に平和首長会議は、核兵器を無くすためになぜもっと闘おうとしないのだろうか。どうしたら7,800もの都市が、こんなにも無力になるのか。私まで難しい立場に立たされてしまう。私も広島が沢山努力していることは認めるが、もっとできるはずであり、もっとすべきであるとも認識している。このままでは広島があたかも真剣ではないかのように思われる。</u></p> <p><u>広島、長崎、平和首長会議は、関わる全ての都市に恩恵があるような草の根運動を、大きなうねりとして生み出す力と潜在性を持ち合わせている。言うなれば、広島を「平和のメッカ」にすることもできる。もし御関心があれば、この点についてもっと説明するが、長くなってしまうのでこのアンケートでは書かないことにする。</u></p>	<p>(「ヒロシマ」の知名度)</p> <p>(ピースボランティア等の活動)</p> <p>(折り鶴展示)</p> <p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進</p>

No	意見	備考
B - 2	<p>・ <u>平和首長会議</u> 核廃絶に向けた取組の裾野を広げていくことは広島の使命です。地道な活動ですが、<u>加盟都市を増やすための取組をもっとしっかりとやっていただきたい</u>と思います。</p> <p>・ <u>核廃絶に向けた国内外の世論の醸成</u> 原爆展の開催や署名活動の展開もちろん大切ですが、<u>この度のローマ法王の来広のようなインパクトのある仕掛けを継続的に行って行くべきだ</u>と思います。例えば、<u>芸術家やミュージシャン等も人種や宗教の垣根を越えて情報発信力がある</u>と思います。</p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (平和首長会議の拡充)</p> <p>(国内外の世論の醸成)</p>
B - 3	<p><u>基本的には賛成</u>しています。平和行政も、さすがに広島市と考えています。</p> <p>細かい点、加えるべき点 etc は、会議でもあれば発言できることもあるかな?と考えています。</p> <p>よろしくお願ひ申し上げます。</p>	
B - 4	<p>平和行政を広く市政にまで拡大して捉えて、<u>平和行政について幾つかの注文</u>があります。</p> <p>① <u>市立大学の平和研究所は、高度な平和構築理論の追求に余念がありませんが、身近な平和都市行政、平和都市政策といった面での研究は極めて不備で、行政との連携もほとんどなされていません。そもそも市立大学に都市政策や都市計画の研究部門がありませんし、スタッフもいません。平和記念都市を標榜(ひょうぼう)する広島市がいかに機能不全であることか示しています。広島において平和都市政策、より広い都市政策について説得力ある研究や活動が展開されているとは全国的に、世界的に認められていないでしょう。これは被爆による被害を訴えるだけでは不十分であります。</u></p> <p>そもそも都市政策は市民の身近なところでどのようなことをすればよいか、広島市政においてどのように展開すればよいのか、極めて不備でありましょう。これは平和研究所のみならず、広島市立大学そのものの研究領域設定の欠陥であり、怠慢であります。<u>広島大学の平和科学研究所を含めて、この領域で、日本国内で、あるいは世界的に人材を募集し、研究体制を整え、推進体制を整える必要性</u>があります。</p> <p>② <u>平和推進課の官僚体制の体質改善で、いくつか注文</u>がありますが、このことの詳細は省きます。</p> <p>③ <u>平和記念資料館のリニューアル後においても多くの検討課題</u>があります。そのことの積極的取組の必要性もあります。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>(市立大学平和研究所の取組)</p> <p>(平和行政の体質改善)</p> <p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p>

No	意見	備考
B - 4	<p>④ 今までの良い点としては、戦前の広島市史、戦後の新修広島市史(シリーズ)、広島原爆戦災誌(シリーズ)、広島市議会史、広島新史(シリーズ)、広島被爆40年史、図説広島市史、広島被爆50周年・図説戦後広島市史/街と暮らしの50年、被爆50周年/ヒロシマの被爆建造物は語る、広島被爆70年史、といった市史編纂(へんさん)行政は他都市にない際立った特徴であり、今後も継承すべきです。しかし、今後そのようなスタッフが育っているかといえば極めて疑問であります。かつての展示企画を含めた博物館構想行政や、市史編纂、公文書館刊行等の文化行政を推進できるスタッフは何人もいたのですが、今はほとんど見当たりません。このような体制やスタッフは平和行政の基盤であります(秋葉時代に著しく後退したのです)。このようなことで認識を改め、早急に体制を整える必要があります。被爆100年史は今から準備する必要はないかもしれませんが(80年史なら準備が必要です)、少なくともスタッフを育てていく必要があります。</p>	<p>(市史編さん行政の継承)</p>
B - 5	<p>リニューアルされた平和資料館の展示は、原子爆弾が人間一人一人の日常を奪い去った非人道性をダイレクトに訴えており、従前の展示に比して、見る者の心を非常に強く揺さぶるものとなっている。</p> <p>被爆から70年余を経て、惨(むご)たらしい記憶の伝承が難しくなってきたのはいるが、これからも世界に向けて平和の尊さを地道に説き続けなければならない。</p> <p>このため、平和資料館、原爆ドームの近辺に、広島を訪れた世界の若い人々が、ヒロシマで感じたことを“発信”できたり、平和について語り合うピースミーティングへの“参加”がしやくすなる基地(スペース)や仕掛け、イベントなどをさらに充実させていくことが肝要ではないかと考える。</p>	<p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p> <p>平和意識の醸成</p>
B - 6	<p>● 広島平和文化センターの理事会に出席して感じることは、様々な継続事業を毎年淡々とこなしている、という印象。公務員の習い性でもあるが、「昨年よりここを変えよう」とか、「昨年は世界的にこういう傾向が見られたので、こんな新規事業を考えてみた」とか、既定路線をはみ出すような事業がなかなか見当たらない。</p> <p>今年の新規の「ユースピースボランティア事業」は、平和を追求する若者を育てるのに広島としてふさわしい事業だと思うが、初年度事業費36万円は低すぎないか。登録者数31人も少なく、市内の全高校(私学も含め)や大学に熱心に参加を呼び掛けたのか疑わしい。ガイドの回数も「8月頃から月1回程度できればいいか」という印象を受ける。理事会では「夏休みはクラブ活動や塾の集中講座で忙しい」という説明だったが、夏休みにボランティアできないでいつするのか。</p> <p>オバマ氏の広島訪問から広島へのインバウンドは格段に増えている。旅行シーズンなどに集中してガイドするなど柔軟性を持って対応してほしい。研修も必要だが、オンザジョブトレーニングでいいのではないかと。(次ページに続く。)</p>	<p>(平和文化センターの事業の印象)</p> <p>平和意識の醸成 (ユースピースボランティア事業の充実)</p>

No	意見	備考
B - 6	<p>応募してくるような若者は経験を積むほど慣れてくるし、もっとガイドしたくなると思う。外国人も一生懸命説明している高校生らを見て「広島に被爆体験を継承しようとするこんな熱心な若者が沢山いるのか」と感じるはずだ。</p> <p>● 原爆の日がいつか知らない人が増えている。世論調査では、正答率は全国平均で3割弱という。原爆の日を全国に向けてもっとPRする必要があるのではないか。原爆を投下したアメリカでも、西海岸のサンジェゴ市では、毎年8月6日に世界平和式典を開き、8時15分に姉妹都市の横浜市から贈られた「友好の鐘」を鳴らしている。シアトル市でも、ワシントン大学近くに1990年にオープンした「平和公園」には被爆少女「サダコの像」があり、毎年8月6日に千羽鶴を持ち寄って平和記念式典が開かれているという。</p> <p>夏休み中ではあるが日本でも各地で行事として定着させる必要がある。文部科学省を始め、関係各省庁に広島市から強く働き掛けてほしい。ローマ法王が忙しい日程をやりくりしてわざわざ訪れるほど「平和メッセージを発信する世界的な都市」だという認識を、市長や職員全員が堅持し、原爆投下の日時だけでも重ねて全国にアピールしてほしい。</p>	(8月6日の周知の必要性)
B - 7	<p>長年、平和文化センターの理事をさせていただいております。</p> <p>何かあればすぐに理事会にて提言いたしております。</p> <p>私自身、あれだけの人数で、対世界に向けての事業、また足元の市民に向けての様々な事業をきちんとされていると評価させていただいております。</p> <p>平和行政、特に平和文化センターについては多大な努力をされていると認識いたしております。(核問題については)</p>	(平和文化センターの事業の評価)
B - 8	<p>平和記念式典や平和首長会議などの場面で、広島から世界に対し、核兵器のない平和な世界の実現に向け、その思いを発信している点は高く評価している。また、最近では平和記念資料館がリニューアルオープンするなど、着実に平和行政を推進していると感じている。</p>	2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 平和記念資料館管理運営・施設整備
B - 9	<p>広島市の平和行政に関しては、世界初の原爆被爆都市として歴代市長・市議会の下、倦(う)まず弛(たゆ)まず着実に取り組まれてきたと受け止めています。昭和51年には公益法人の広島平和文化センター(会長=市長)を設立、この組織を中軸にして多面的な核兵器廃絶・平和推進活動を推進していると評価しています。</p> <p>添付資料のとおり平成31年度も多岐に及ぶ事業の推進が図られています。市のホームページ「令和元年度 平和関連行事一覧表」には、市及び市の関連団体等が主催、共催、協賛、後援する行事が大小合わせて250項目近く列記されています。ほぼ着実に実行に移されているとみています。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	(平和行政全般の評価)

No	意見	備考
B - 9	<p>○ 「感じていること」の良い点は</p> <p>◇総じて核廃絶と平和推進の両輪の調和が取れている◇「被爆語り部」に代わって「永遠の語り部」の役割を担う平和記念資料館をタイムリーに全面リニューアルオープンし、内外からの入館者が右肩上がりに増えている。外国からの入館者が増えるのは「ヒロシマの世界化」に直結する◇平和首長会議への加盟都市も増え続け、都市間の平和連帯が進捗している◇「平和学習を兼ねたヒロシマ修学旅行を」との呼び掛けが功を奏し、広く国内の若い世代に「平和の尊さ・戦争がもたらす悲惨さ」をアピールできている◇次世代を担う青少年の平和意識の醸成に多様な取組をし、目に見える成果を上げている◇事業・活動が市の中心部に偏らず、区民文化センターや公民館、集会所等で「草の根」の活動が不断に行われている。</p> <p>○ 悪い点(良くない)という意味合いも込めて</p> <p>◇広島市が担う方がベターだと思われる事業・活動を県サイドでやっている事業が目につく。私の偏見ではないと思うのは、このように受け止めている各階層の有識者や市民は少なくない。広島市は「政令都市」。県と中核市が切磋琢磨するのは良いことだが、県の「国際平和拠点ひろしま構想」などは本来、広島市が担うべきではないのか。拠点構想のアジェンダ設定、行動の提案、広島から世界への平和のメッセージなどの骨子を読めば、少なくとも広島市との共同事業として進める方がアピール度は高いし、予算の面でも効率的である。併設の市立大・平和研究所は、広島大・平和センター(中区東千田町)などよりも充実した陣容であり、平和研をもっと有効活用すべきと考える。◇市の平和行政に携わった複数のOBからの声。「退任後に市民の側から眺めると、役所の論理や予算不足などを理由に『出来かねる』、『上がウンと言わない…』など逃げ口上が目立つ」。反省の思いも込めたOBの声や指摘が軽視・無視されるほどだから、一般市民の声はなかなか生かされないのではないかと危惧する。</p> <p>知己の別の資料館OBから、こんな声も聞いていた。「平和学習で訪れた遠来の児童・生徒たちが炎暑の下で、時には小雨の中で資料館本館1階の吹き抜けや、傍らのコンクリートの地べたで弁当を食べている。『何とかならないのか…』と直言・進言したが、今もって同じ光景は繰り返されている」と嘆いていた。「観せてやっている」のではない。「観に来てもらっている」との認識が大切。議員各位も折節に平和公園や資料館に足を運び、現場を見ていただきたい。リニューアルオープンした後、資料館を観ていない議員さんもいるらしく残念・遺憾である。</p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他 平和記念資料館管理運営・施設整備 (平和首長会議)</p> <p>被爆体験の継承・伝承その他 平和意識の醸成</p> <p>(広島県との役割分担の改善)</p> <p>(市立大学平和研究所の活用) (平和行政全般の問題点)</p> <p>被爆体験の継承・伝承その他</p>

No	意見	備考
B - 10	<p>広島市の平和行政はよくやっていると思いますが、もっと<u>芸術の力を活用すべきだ</u>と思います。現代美術も大切ですが、<u>マンガやアニメなどのサブカルチャーの力を借りて、国内と海外に住む子どもや若者たちに原爆の非人道性を理解してもらうことに予算も人的資源もつぎ込むべきだ</u>と思います。展覧会という形でもいいし、<u>作品や人に賞を授与する形でもよい</u>と思います。広島市現代美術館が三年に一度出している「<u>ヒロシマ賞</u>」は<u>大人の芸術家に対する賞</u>ですが、<u>もっと子どもたちに訴求する形のものもあつたらいい</u>と思います。</p> <p>展覧会を開催するのであれば、ルーブル美術館などの影響力のある美術館と協力して行うのもよいでしょう。ただし、企画が良くないと開催されませんので、十分な時間を掛け、調査をしてからになります。</p> <p>芸術には美術のみならず音楽、演劇、映画、小説、詩などもあり、他にないユニークなものにしていかれたらよいと思います。</p> <p>要は、<u>政治の世界のハードさとは異なるソフトパワーをもっと活用すべきだ</u>と思います。</p>	(芸術の力の活用)
B - 11	<p>設問の間1～3をまとめたものとして、下記を回答します。</p> <p>区分されている「核兵器の廃絶」、「平和意識の醸成」、「被爆体験の継承、伝承」、「平和記念資料館 管理運営、施設整備」については更なる進展と強化を希望します。</p> <p><u>街づくりや生活空間の基盤である「広島平和記念都市建設法」に関する認識や意識にはやや弱さを感じています。今後の蓄積と推進と強化を希望します。</u></p> <p><u>「市民球場跡地」、「基町アパート」、「旧日本銀行広島支店」、平和大通の東の端「比治山公園」、平和大通り西の端「西広島駅周辺」、「平和西大橋」等は、「広島平和記念都市建設法」の理念の基に、総合的な計画、検討を必要とするテーマと考えます。</u></p> <p><u>これらのテーマの進展と結実は、項目「平和意識の醸成」において、住民にはもちろんのこと、国内外からの来訪者に対しても発信力は大きいと考えます。</u></p>	<p>(平和記念都市建設法の認識等の強化)</p> <p>(平和記念都市建設法の理念に基づいた都市づくり)</p>
B - 12	<p>広島平和文化センターでは、「国際交流・協力推進事業」として、「<u>ひろしま奨学金支給事業</u>」を実施しています。対象は、市内の大学・大学院に在籍する私費留学生となっているが、もう少し対象を拡大すべきです。市内に居住する在日外国人、民族学校に在籍する児童生徒等も対象にすべきだと考えます。</p>	(平和文化センターの事業(国際交流・協力事業の拡充))
B - 13	—	
B - 14	<p>○A「<u>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進</u>」、B「<u>平和意識の醸成</u>」、C「<u>被爆体験の継承・伝承その他</u>」の3分野で多彩な平和推進事業を育て上げてきた実績を評価</p> <p>○A・Bには<u>マンネリ化との懸念</u></p> <p>○<u>避け難いヒロシマの歴史化への対応として今後のCの展開に期待</u></p>	(平和行政全般の評価)

No	意見	備考
B - 15	<p>私は、広島平和記念資料館リニューアルの際に、検討委員の一人として参加させていただきました。</p> <p>博物館学を専門としている関係で、全国の地方自治体が設置する博物館の様々な検討委員会で委員として発言する機会がございますが、広島市のこの検討委員の皆様、特に地元御出身の方々は、ほかの委員の顔色をうかがったり、事務局の意図を忖度（そんたく）したりすることなく、御自身のお立場を明確にした上で、はっきりと御主張を展開されていたことがとても印象的でした。その分、取りまとめに関して、事務局の御苦労は想像に難くありませんが、私にとっては、大変好感の持てる委員会でした。</p> <p>ということは、地元の委員の皆様は、それほどまでにこの資料館の大切さを理解し、館の社会的価値を確信している証しではないかと考えました。私の住む札幌市や北海道が設置する博物館の検討委員会では、これほどまでに議論が熱くなることは滅多にありませんので、ある意味、羨ましかったです。</p> <p>さて、今年の8月6日。私はこの日、大阪にりましたが、急に仕事がキャンセルとなり、午後から新幹線で広島に向かいました。式典の余韻を感じながら、<u>リニューアル後の資料館を初めて観覧させていただきました</u>。検討委員だった時からかなりの年月が経過しておりますので、当時の検討の経緯や結果を正確には覚えておりません。しかし、<u>戦争を経験していない方が、当時のことを〈自分事〉として、共感を持って受け止める工夫が随所にあるように感じました</u>。時代とともに人々は変わり、価値観も移り変わっていくわけですから、<u>資料館が「伝えたいこと」をどう伝えるか、その方法や語り方も変わっていくべきと思います</u>。その辺にきつと御苦労されたのではないかと思います。素晴らしい展示室を完成させた資料館スタッフや関係者の皆様に、心から敬意を表します。</p> <p>今回お送りいただいた「平和の推進に関する取組(事業費一覧)」を拝見し、<u>全体で24億円の予算のうち、その半分が資料館の管理運営・施設整備に使われていることを知りました</u>。<u>改めて、資料館の位置付けの重要性とその情報発信力への期待を窺（うかが）い知りましたし、それに十分応える新展示になっていると考えます</u>。</p> <p>この日の展示室は、自由に歩くことも難しいほどの混雑でしたので、今度は落ち着いてゆっくり観覧できる日にお邪魔させていただければと思います。感想に近いことしか書けませんでした。本取組のますますの充実に期待しております。</p>	<p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p>

No	意見	備考
B - 16	<p>広島市の都市像は、市ホームページ搭載の「広島市基本構想」にあるように、「国際平和文化都市」だろう。それは被爆4年後の1949年に制定・初の住民投票を経て公布された国の特別立法「広島平和記念都市建設法」にうたわれ、廃虚からの復興に「理想の象徴」、「平和都市」像を託した先人たちの精神を受け継ぎ、市民のみならず被爆地に関心を寄せる国内外の人々の願いにも応える都市づくりに取り組む宣言とも言える。</p> <p>この「国際平和文化都市」という呼称・考えは、山田節男市長（1967～75年）の頃に打ち出された。被爆地広島は、高度経済成長の波に乗って東京オリンピックがあった64年に市人口は50万人台となり、「中四国最大の街」としても発展する。当時既に「原爆の風化」が言われ、山田市長は71年の平和宣言で次世代への「平和教育の推進」を訴えた。翌72年には「ヒロシマの心」と今も使われるメッセージを盛り込む。市長は戦前に英国留学し、国際労働機関（ILO）で働いた人物でもあった。</p> <p>原爆がもたらした人間的悲慘を巡る世界への伝達は、自身も被爆者だった荒木武市長（75～91年）の頃に本格化する。76年に長崎市長と国連を訪れ、「広島・長崎の原爆災害」を事務総長に報告書で提出した（広島原爆死没者は45年末までに「14万±1万人」との推計値は、市も各メディアも引用を続けている）。78年には初の国連軍縮特別総会で核兵器の廃絶を訴え、「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展」を開催する。現在の「平和首長会議」は85年の「世界平和連帯都市市長会議」に始まった。一方で、86年に起きたチェルノブイリ原発事故や、核実験被害者への視点は薄く、平和宣言で言及することはなかった。</p> <p>そして被爆半世紀の95年、平岡敬市長（91～99年）は、「原子爆弾は、明らかに国際法違反の兵器」と平和宣言で訴え、核兵器の使用・威嚇を審理した国際司法裁判所（ICJ）でも「核兵器の開発・保有・実験も国際法違反」と陳述。日本政府代表の見解をも退けた。「核兵器廃絶の条約を結ぶことによって、世界は希望の未来へと足を踏み入れる」と、核兵器禁止条約の必要性を国際社会にいち早く提唱もしていた。</p> <p>核超大国が今も開発を続け威嚇もする、対抗しようと持ち、また依存を辞さない。それを「国際安全保障」、「平和の構築」とする世界の矛盾に対し、国際的なネットワークを持つ非政府組織（NGO）が連帯して動いた結果、非核の各国政府が2017年に採択したのが、「核兵器禁止条約」である。</p> <p>「核のない世界」の実現に向け、史上初の被爆地からの願い・訴え・取組があり、広島市に還元すれば「平和行政」が広がってきた、とも言えるだろう。念押しすれば、「1945年8月6日」を体験し遺族でもあった市民の痛切な思いが、「平和行政」の始まりでもある。米軍の占領統治が明けた翌54年のビキニ水爆被災を機に起こった原水爆禁止水禁運への国民的な共感やうねりが、広島への関心を高め、戦後日本の平和観の礎をも成す。（次ページに続く。）</p>	（平和行政の歴史）

No	意見	備考
B - 16	<p>「平和記念都市建設法」を国から引き出した浜井信三市長（47～55年、59～67年）も深く関わった原水禁運動は、各政党・労組の主導権争いから、被爆地でも市民の離反をみる。世代交代に連れて今、「原爆の風化」という言葉ですら地域で話され聞く機会も薄れた。</p> <p>この間、米ソ両国が核配備を欧州で競う中での81年のローマ教皇、90年の元米大統領、92年の元ソ連大統領、そして2016年の現職米大統領の訪問をみた。ヒロシマという地は国際的にも知られるようになった。</p> <p>しかし、<u>原爆による人間の惨禍の実態や、言い尽くせぬ体験・記憶は、世代や国境を越えて名実ともに共有されている、と言えるだろうか。「平和行政」は一過性のイベント的な装いを強めてないだろうか。平和宣言は「被爆者の思いを盛り込む」として年々長文になっているが、訴えの中身は形骸化し、言葉の迫力にも欠けていないだろうか。</u></p> <p>被爆者と国が法的に認める被爆者健康手帳の所持者は2019年3月末現在、国外を含めて14万5千人余。最も多かった81年3月末の37万2千人余と比べると39%にまで減った。広島市をみても5万人を割り込み、平均年齢は82・16歳である。<u>NHK放送文化研究所が1975年から5年ごとに行う「原爆意識調査」をみると2015年、「広島原爆の投下日」の正答率は地元でも69%であり、「原爆を話題にすることが『ある』は31%にとどまる。また広島平和教育研究所の調べでは、県内小中学生の「投下日時」の正答率は42%だ（2011年実施）。今年4月にリニューアル・オープンした原爆資料館は、確かに国内外からの来訪者でにぎわうが、被爆地広島そのもので記憶する土壌が溶けつつある。</u></p> <p><u>それは「国際平和文化都市」や「迎える平和」というあまり、史上初の「被爆都市」である意識が、市民の代表機関である市長部局でも市議会でも薄れているのではないだろうか。身近な場や地域を見つめ直すべきだと指摘したい。</u></p>	<p>（平和行政全般への指摘） （平和宣言）</p> <p>（原爆意識の現状）</p>
B - 17	<p><u>各国要人の資料館視察や慰霊碑参拝などに同行するとき、広島を訪問することこそ、核廃絶、平和の希求の一步だと感じます。ヒロシマの心を国内、国外に伝える行動が着実に成果を、少しずつでも上げているように思います。</u></p>	<p>（迎える平和への印象）</p>
B - 18	<p>◎良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地道ではあるが、従来の平和関連の事業を推進している。</u> <p>◎気になる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>世界で最初に核の被害を受けた都市として、もっと政府に気兼ねしないで、広島独自の核兵器廃絶に向けた施策を打ち出すべきだ。</u> ・<u>ノーベル平和賞を受賞したICBNの運動によって、核兵器禁止条約が成立し、核兵器禁止に弾みが付いた。</u> <p>また、「核兵器なき世界を」というスピーチで、ノーベル平和賞を取られたオバマ米大統領も広島に来られた。</p> <p>（次ページに続く。）</p>	<p>（平和行政全般の評価）</p> <p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 （核兵器廃絶に向けた市独自の施策の必要性）</p>

No	意見	備考
B - 18	<p>さらに、ローマ教皇も広島に來られて、核兵器廃絶に強いメッセージを述べられた。</p> <p>広島にとって、『核兵器廃絶』を目指している中で、いろいろな後押し材料があり、これらを生かす方策を考えるべきと思っている。</p>	
B - 19	<p>広島市が推進する「迎える平和」の一環として、平和記念資料館において、被爆の実相や核兵器の非人道性をより分かりやすく伝えていくべく体系的な展示とするためのリニューアルが行われ、本年4月25日にオープンし、内外から大変多くの方が来館されています。その理由の一つとしては、被爆の事実をストレートに伝える実物資料の展示ということが重視され、被爆者や遺族の苦しみや悲しみがこれまで以上に伝えられており、それが来館者の胸を強く打つことがあると思います。早速に大きな反響があったことは、喜ばしい限りです。</p> <p>しかし、こうした展示物に触れるためには、資料館に入館する際に「観覧料」を支払わなければなりません。「観覧」を辞書で引きますと、「景色や芝居、絵などを見ること。見物すること。」とあります。被爆者の経験した凄惨（せいさん）な状況と被爆者と遺族の方一人一人の心の傷に触れる大切な場でありながら、ここに入るに当たって「観覧」という娯楽性を感じさせる言葉が使われていることに大きな違和感を覚えます。資料館の果たすべき大きな役割に、この言葉は全く相いれないものではないでしょうか。何より、被爆者と遺族の気持ちに寄り添うべき広島市が、こうした言葉が使われていることは残念でなりません。</p> <p>是非とも、適切な言葉に速やかに変更いただければと思います。</p>	平和記念資料館管理運営・施設整備
B - 20	<p>被爆建造物・被爆樹木等の保存・継承について</p> <p>被爆建造物の保存の予算が突出しているが、これは原爆ドームの保存に掛かる費用だと思われるので必要なことと思われる。</p> <p>旧中島地区被爆遺構の展示整備検討について</p> <p>平和公園はもともと広島で一番の繁華街であった旧中島地区の上に建てられたものであるから掘れば遺構が出てくるのは当然である。たまたま原爆資料館の耐震化工事のために遺構が出てきたというのは本末転倒である。遺構調査をするのであれば平和公園全体を掘り返さなければならなくなる。また、一部だけを掘り返すことも必要ないと思われる。むしろ、現在でも遺構が露出している「慈仙寺」などの周囲を少し広げて発掘し、慈仙寺の遺構として残してはどうか。</p>	被爆体験の継承・伝承その他
B - 21	<p>核兵器廃絶を目指した取組の今年度の予算で、最も大きいのは「その他」の項目で、「その他」が項目全体の58%近くを占めています。半分以上を占める「その他」の内容が全く説明されないまま資料として提示されており納得できません。これが広島市の常識なのでしょう。同様の、もっとひどい例が「被爆体験の継承・伝承その他」の「その他」です。86%です。こういう資料を提示して回答を求める姿勢がおかしいとは思われませんか。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	

No	意見	備考
B - 21	<p>近年の8月6日の平和宣言について</p> <p><u>広島</u>の平和宣言が、つまらない、内容の薄い宣言になっていることは残念ながら否定できません。「平和宣言に関する懇談会」は市長が座長で、しかも会議は非公開になっているようですが、こういう会議の在り方は再検討されるべきではないでしょうか。広く市民の意見を聞き、いろんな分野の人の意見を求めて検討するどころか、逆に、そういう道を閉ざしていませんか。平和宣言は市長個人の意見が述べられる場ではありません。懇談会で話された内容を口外してはならないようですが、メンバーは広く公開の議論を促す人たちであってほしいです。</p> <p>「核兵器禁止条約」について</p> <p><u>広島市議会</u>は、かなり早い段階に、<u>日本政府</u>が条約の早期署名・批准をするように意見書を出されましたが、市議会はそれを忘れないで、市長に迫ってください。市長自身は「政争の具」にしたいのでしょうか。この条約は、政争の具にするものではなく、被爆都市広島が世界に対して背負っている歴史的使命の実現のためのものです。</p> <p>平和意識の醸成について</p> <p>平和教育は平和意識の醸成のために大きな役割を果たします。時代とともに<u>広島</u>の小中高の平和教育も変わってきましたが、若いときの平和教育が平和意識の醸成にとって大切なものであることは変わりません。かつてのように7月の定期試験の済んだ後の、夏期休暇が始まる直前の日に時間を取って、クラス全体や学年全体、あるいは学校全体で、平和教育の行事を組むことは、今では困難になりました。各教科の授業も同様です。社会科や歴史の授業で原爆投下の歴史を学ぶ時、余り時間が取れなくなりました。初期の平和教育の経験が今の若い教師に伝わっていません。教師の忙しさが困難さを増加させています。</p> <p>クラブ活動のユニークな平和活動をメディアが報道することがあります。授業で学ぶというより、生徒たちの自発的な活動から生まれるものです。報道に接して、初めて自分の通っている学校のユニークな活動に気付かされることもあります。</p> <p>学校へ被爆証言者を招く予算が付いたり改善されたことも確かにありますが、最初の頃の平和教育と現在の平和教育を比較検討し今後備えてほしいと思います。ただし、教育委員会案を一方的に現場へ押し付けるのではなく、現場の先生の意見を丁寧に聞き尊重してほしいと思います。広島市の教育委員会はそういう姿勢を貫いていただきたいです。いかがでしょうか。</p>	<p>(平和宣言)</p> <p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p> <p>平和意識の醸成 (平和教育)</p>

No	意見	備考
B - 22	<p>「ヒロシマ」の名前は広く世界で認知され、平和について考える人々にとって大切な地となっています。1945年8月6日、あの日から、たゆまぬ市民の努力によって、今日の広島が築かれてきました。</p> <p>しかし、今日の<u>広島市の平和行政や担当課内に、市民あるいは平和団体の活動を支援するという政策・姿勢は、率直に言って見当たりません。全て官製の事業です。これでよいのでしょうか。私は変革を求めます。</u></p> <p>○「2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進」について</p> <p>① 平和首長会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和首長会議も組織が拡大し、大きな役割を担うようになっていますが、反面、その運営が官僚的になってはいないのでしょうか。<u>首長会議の中で決定されたことは、ほとんど広島市民に知らされないまま動いているように、私には見受けられます。また、市民の意見を聞く場・機会も設けられていません。来年は2020年です。次のビジョンの作成はどうなっているのでしょうか？</u> <u>平和文化センターで平和首長会議の担当課をあえて海外、国内と分けたことは、求心力が低下すると感じます。ビジョンを決めるのは平和首長会議・2020ビジョン推進課で、平和連帯推進課は国内の加盟都市の取りまとめ、という分担だと聞いている。そもそも平和首長会議という一つの組織を国内、海外と分ける必要があるのでしょうか。</u> <p>② 原爆展について</p> <p><u>原爆展（国内）に被爆者や朗読ボランティアを派遣していますが、ピースボランティアを派遣し、そこで展示解説をしてはどうでしょうか。原爆展は展示スペースが限られており、少ない展示の中で被爆の実相を理解してもらうために、大変有効であると考えます。あわせて、様々な平和事業に参加している若者を派遣し、開催地の若者と交流する機会を設け、平和に取り組む国内の若者のネットワークを構築していくことも必要ではないでしょうか。</u></p> <p>○「平和意識の醸成」について</p> <p><u>この分野こそ、市民の声を聞き、官と民が協力し合うべきだと思いますが、その動きは、一切感じられません。一つ一つの事業は担当者によって丁寧に実施されていますが、これらの取組の成果や、そこで生まれた教材などが市民に提供されることもありません。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>全て事業の対象は中高生で、30代～40代を対象にした取組がありません。30代～40代は、働き盛りであり、子育て世代でもあり、言い換えれば、社会の中でも最も力を発揮できる世代です。人生の中で忙しい時でもあります。戦争を知らないこの世代を対象にした教育的取組なしで、更に若い次世代への継承は語れないと思います。</u> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>(平和行政全般の問題点)</p> <p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (平和首長会議の運営)</p> <p>(平和文化センターの体制)</p> <p>(原爆展へのピースボランティアの派遣)</p> <p>平和意識の醸成 (官民協力の必要性)</p> <p>(30代～40代を対象にした取組の必要性)</p>

No	意見	備考
B - 22	<p>・若者を対象とした事業が幾つかあるので、それらに参加している若者同士がお互いの取組について理解し合い、平和への思いを語り合えるような機会があればよいと思います。海外に向けて発信することも大切ですが、もっと足元を固めることも必要ではないでしょうか。様々な取組に参加している広島若者同士がつながって、自分たちで平和のために何ができるのかを考え、若者たちが主体となり行動に移すことを後押しできるような仕組みを作っていただきたいと思います。</p> <p>※「平和意識の醸成」という言葉について→軽い印象がして、少し違和感を覚えます。</p> <p>○「被爆体験の継承・伝承その他」について</p> <p>① 修学旅行への対応 <u>修学旅行生の増大に対応する施策の充実を図っていただきたい</u>と思います。</p> <p>1. <u>受け入れ場所（ホテル等）の充実</u> 2. <u>ピースボランティア等の案内人の人材育成と充実</u> →班別行動が増えていることに対応していく</p> <p>3. <u>修学旅行で来広される学校のニーズ把握</u> 4. <u>バスガイドさんへの平和教育</u> 5. <u>夏の暑さ対策→休憩室の設置</u></p> <p>② 被爆体験継承者の活動支援 広島市は継承者を養成することに力を注いでおられますが、<u>学びを終えた継承者の方々の活動を、もっと丁寧に考えていただきたい</u>と思います。<u>継承者の方々の意見を聴き、くみ取ってください。</u></p> <p>③ 被爆樹木の認知促進 <u>被爆樹木の価値に対する広島市、あるいは市民の認識が浅い</u>と思います。<u>（被爆樹木のカルテの保全について指針ができたことは、評価に値します）</u> <u>被爆樹木は、被爆者亡き後、生きて、被爆の実相を語る広島の宝です。その価値をより広く知らしめるための施策を考えていただきたい</u>と思います。</p> <p>④ 被爆遺構の展示の検討 <u>被爆遺構の展示の在り方が丁寧になされていない</u>と感じます。<u>被爆遺構を巡って、広島市内を歩けるような案内も必要だ</u>と思います。</p> <p>⑤ ユースピースボランティア事業について 英語で公園をガイドする<u>ユースピースボランティア事業</u>に対し、日本語でガイドする若者事業がないのはなぜでしょうか。<u>広く海外に伝えることは大切で必要なことですが、同時に国内の世論の醸成も必要であり、その役目を広島の若者にも担ってもらいたい</u>と思います。</p>	<p>平和意識の醸成 （若者による主体的な活動の後押し）</p> <p>被爆体験の継承・伝承その他 （修学旅行生への対応の充実）</p> <p>（被爆体験継承者の活動支援）</p> <p>（被爆樹木の認知促進）</p> <p>（被爆遺構の展示の検討）</p> <p>（日本語によるユースボランティア事業の導入）</p>

No	意見	備考
B - 23	原爆展の開催0になってます。どうしてか。	
B - 24	<p>事業費一覧を見て、まず一番、目に飛び込んだのは事業費の各説明文—末尾の(その他)の項目です。</p> <p><u>核兵器廃絶を目指した取組の推進事業費(143,956千円)のうち、その他とされている8千2百96万9千円、被爆体験の継承、伝承その他(1,061,742,000円)のその他(909,187,000円)が何に使われているのかよく分からないのです。</u></p> <p>(ヒロシマの市民)は被爆という比類なき体験をし、戦後長きに渡り世界平和の構築のために歩んできた街だという強い思いがあります。</p> <p><u>事業及び事業費は、誰が見ても理解でき、納得できるものであってほしいと思います。</u></p>	(平和行政全般の事業内容の明確化)
B - 25	<p>広島を離れて6年余り経ちますが、日頃から広島の話には注目しています。</p> <p><u>人類史上最初の戦争被爆都市としての存在は揺るぎないものがあり、毎年8月6日の平和記念式典は全国中継されますが、従来に比べて国際的及び国内的に平和や核兵器廃絶に関する発信力が低下し、広島の存在感が弱まっているように感じています。</u></p> <p><u>NPT体制は、事実上機能不全に陥っていると思います。世界平和の実現に向けた実効性のある活動を広島が先導されることを期待しています。</u></p>	(平和記念式典の印象) 2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進
B - 26	<p>広島市の平和行政について感じていること</p> <p><u>ガイドの資格を得て、就業を始めた40年前と比べて、核廃絶へのアピール力が弱くなっていると感じます。</u></p> <p>2009年オバマ前米大統領が、チェコのプラハで行われた演説で、ノーベル平和賞を受賞され、当時の秋葉市長が2010年広島でノーベル平和賞受賞者サミット開催を提唱され、実現への取組がありました。</p> <p>残念ながらサミットは実現しませんでした。その時のヒロシマの熱気は印象に残っています。</p> <p>その後、北朝鮮、米国、ロシア、中国の指導者たちの自国第一主義の風潮が蔓延(まんえん)し、2017年核兵器禁止条約が国連で採択されても日本は批准せず、同年ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)がノーベル平和賞を受賞しても日本政府は余り反応しなかった印象があります。</p> <p>しかし、今年24日に長崎と広島を訪れたローマ教皇フランシスコの言葉は、そんな日本の、広島の現状に一石を投じてくださったと思います。教皇は、「戦争のために原子力を使用することは、犯罪以外の何物でもない」と指摘し、「核戦争の脅威で威嚇することに頼りながら、どうして平和を提案できるか」と述べ、名指しは避けながら、核抑止力を唱える国々を批判されました。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器廃絶へのアピール力の低下)

No	意見	備考
B - 26	<p>11月28日にオーストラリア人8名、インド人2名合計10名の案内をした時、教皇の言葉を紹介しました。何人かの参加者が、拍手をしてくださいました。</p> <p><u>人類初の被爆地としての広島は、広島独自の力強いメッセージを発信していく責任があると思います。</u></p>	
B - 27	<p><u>8月6日の式典はとても良かったと思います。</u></p> <p><u>小学生の発表は、年々子ども達の思いの語り方が素晴らしくなっていると感動でした。</u></p> <p><u>気になる事は、デモ隊の態度の悪いことです。</u></p> <p>みんなの心が一つになり、広島市より恒久平和を願う会になればと思います。</p> <p>「安倍帰れ」と大きな声、子どもの声が聞こえて来ました。市民として恥ずかしい思いです。</p> <p>世界より全国より来広されているのに、なんとかならないでしょうか？</p> <p><u>静かな心でお祈りする式典になればいいと願っています。</u></p>	<p>(平和記念式典の印象)</p> <p>(平和記念式典中のデモの音量の規制)</p>
B - 28	<p><u>広島市の平和行政については、長崎市と密接な連携を取っています。</u></p> <p><u>また、被爆者の被爆体験談を基にした市民の「平和を願う心」を中心に据え、国内外に、被爆の実相など様々な角度から、「人類の恒久平和」への取組活動の重要性などを広く発信し続けておられます。</u></p> <p><u>事業活動を、高く評価したいと思います。</u></p> <p>引き続き、各、事業を深く展開していただきたいと思います。</p>	<p>(平和行政全般の評価)</p>
B - 29	<p>広島市の平和行政について、平和の推進のために積極的に取り組まれている姿勢を評価します。その上で、<u>改善点として、以下の点を挙げたいと思います。</u></p> <p><u>核兵器廃絶を目標とした国内外の世論の醸成に、より取り組んでいただきたいです。例えば、年間170万人ほどの来館者のある平和記念資料館の更なる活用、一例を言えば、開館時間の延長、展示内容の恒常的な検討など、継続的な議論が必要だと考えます。また、諸外国での原爆展の展示などにも、より積極的に取り組んでいただきたいです。</u></p> <p><u>「ヒロシマ」の緊急的課題である被爆体験の継承に関しては、受け手の側の原爆被爆被害の理解が第一に重要だと考えます。高等教育機関とも連携し、被害の実態をより正しく伝える「仕組み」作りも必要だと考えます。</u></p> <p><u>被爆資料、証言、手記等の収集、その整理、データベース化、公開、並びに分析、さらには、高等教育機関と連携し、医科学、物理学、社会学等、総合的なアプローチで原爆被害を体系的に教える場を作る、等々私たちができることは、幾つもあると考えます。被爆証言・手記などの分析から被爆者の思い・願いを再構築し、これからの「ヒロシマ」の役割を考えることも重要なのではないかと思います。</u></p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 平和記念資料館管理運営・施設整備 (原爆展の開催) 被爆体験の継承・伝承その他 (仕組みづくりの必要性)</p>

No	意見	備考
B - 30	<p>○ <u>平和首長会議や核軍縮の国際会議などで、長崎市田上市長と共に会長としてリーダーシップを発揮されることも、もちろん大切ですが、核廃絶の国際条約が発効するためには国の同意と批准が必要です。世界で唯一の被爆国でありながら、この条約に賛成しない日本政府をどうすれば動かすことができるのでしょうか？</u></p> <p>1 <u>世界平和首長会議に参加している日本全国の首長から首相、衆参両院議長、及び党派を問わず全国会議員に、国会で審議し批准する事を国民の総意として要求していただきたいと思います。そして、理事会でも平和首長会議に参加している、それぞれの国で同じ行動を起こしていただき、核廃絶の流れが世界に広がることを心から願っています。そして広島市議会が、2020 ビジョンをどのように考えているのか？党派を問わず市長を応援してください。次世代の子どもたちに、これ以上負の遺産を残すことは許されません。</u></p> <p>2 <u>2020年 NPT 再検討会議第3回準備委員会参加の高校生に、帰国後その体験を報告発表する場を設け、多くの同世代の高校生たちが、その臨場感を追体験することにより、平和に対する関心がより深くなるとともに自分のこととして考えるきっかけになると思います。</u></p> <p>3 <u>毎年、広島で幾つかの国際シンポジウム(無料)が開催されていますが、PRが届かないのか若い人たちの姿は少なく年配者が多いように思われます。また、議員席が設けられていますが、最後までいる人は少ないです。東京から来た大学生に会った事がありますが、広島の国際関係の学部や市会議員に1回は参加を義務付けることで、平和に対する認識と責任を改めて感じてもらう機会になると思います。</u></p> <p>4 <u>署名活動を行える場所が制限されていますが、例えば平和資料館や国際会議開催のシンポジウム会場、公民館や図書館などに署名用紙を置き、来た人に署名をしてもらうという方法が、あってもいいのではないのでしょうか？元安橋のたもとで、一生懸命に署名を呼び掛ける高校生の姿に頭が下がる思いです。</u></p> <p>5 <u>岡山県は隣県であり、原爆展ではなく資料館や追悼館へも来てもらって原爆、核兵器の恐ろしさを学んでほしいと思います。そして、原爆展は遠隔地での開催が望ましいと思います。</u></p> <p>○ <u>「中・高校生ピースクラブの開催」、「ひろしま子ども平和の集い」、「こどもピースサミット」、「こども平和宣言」、「平和の鐘」その他に参加した子どもたちのネットワーク又はOB、OG会を作り、毎年8月6日に集う会をする。そして、当時の感動を思い起こし式典に関わることで、改めて平和についてそれぞれの立場で考える機会になると思います。そして、年を経るうちに、平和公園での貴重な体験の積み重ねが人としての成長につながり、将来の広島のリーダーとして活躍してくださる人になることと思います。</u></p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p> <p>(国際会議参加高校生の体験報告の場の設定)</p> <p>(国際シンポジウムへの参加者の拡充)</p> <p>(署名活動の場の拡充)</p> <p>(岡山県民に向けた取組)</p> <p>平和意識の醸成 (子どもたちのネットワークの整備)</p>

No	意見	備考
B - 30	<p>1 <u>毎年8月6日開催の「ひろしま子ども平和の集い」は、全国の小・中・高校から選ばれた学校の生徒たちが音楽や劇、その他様々な工夫を凝らした発想で「平和」を訴える素晴らしい企画です。見ていて胸が熱くなります。国際会議場ホールが会場ですが、空席が多く参加校(11校)の関係者だけのような感じでした。広島で発表するというので、恐らく練習を重ねられたことでしょう。会場の外は人であふれているのですが、もったいないです。広島の小6、2校ぐらいが順番に平和学習で見学すればよいのと思いました。</u></p> <p>2 <u>他府県や広島の人でも8月6日を知らない人がいます。まして「2020ビジョン」が何を意味しているのか？知っている市民県民はどの位いるのでしょうか？毎年ピースナイターがMAZDA スタジアム広島で開催されていますが、「野球」だけではなく「サッカー」、「ラグビー」、「バレーボール」などなど様々なスポーツ会場で高校生による「ピースパフォーマンス」や「大型ビジョンでの市長のメッセージ」の放映を行うなどは多くの人々が平和を意識する良い機会になると思います。平和であってこそ、スポーツも楽しめるのですから・・・。</u></p> <p>○ <u>被爆建物の保存継承は絶対に残すべきです。今象徴的なものとして「原爆ドーム」が挙げられますが、10年ぐらい前、ヨルダンから来られたイナム・アル・ムフティ女史(パレスチナ人で元ヨルダン社会開発省大臣)を御案内した時に、「原爆ドーム」を見なければ今の広島からは「原爆の悲惨さを感じることはできない」との言葉、地球上に核が有る限り、被爆体験の継承と伝承は絶対必要です。</u></p> <p>○ <u>平和記念資料館の管理運営と施設整備については、今回38年ぶりにリニューアルされましたが、今後も長期的な視点に立って先を見据えた財源の確保、例えば積立方式などを考えておくことが必要だと思います。</u></p> <p>○ <u>産業革命以来、人類は飛躍的な科学の発展を遂げてきましたが、科学の発展は人類の幸せのためにこそ使われるべきものです。全世界の科学者の皆さんに広島から訴えます。軍事産業ではなく平和産業で次世代の子どもたちに豊かで平和な地球と未来を譲り渡すことが、今を生きる私たち大人の責任ではないのでしょうか？</u></p>	<p>平和意識の醸成 (ひろしま子ども平和の集いの活性化)</p> <p>(8月6日、2020ビジョンの周知)</p> <p>被爆体験の継承・伝承その他</p> <p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p> <p>(全世界の科学者への訴え)</p>
B - 31	<p>良い点</p> <p>(1) <u>広島平和記念資料館の展示について、内外からの訪問者数も多く、また展示の趣旨についても分かりやすい。</u></p> <p>(2) <u>平和首長会議の活動について、平和文化センターのニューズレターやウェブで記載されており、分かりやすい。</u></p> <p>(3) <u>広島市への内外の旅行者が数多い点に注目して、ピースツーリズムなどを積極的に展開している点は、平和行政として評価できる。</u></p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p> <p>(平和首長会議の運営)</p> <p>被爆体験の継承・伝承その他</p>

No	意見	備考
B - 31	<p>改善できると思える点</p> <p>(1) <u>平和行政について、広島市が中心となりつつも、他の諸団体との提携もより進めることも期待したい。</u></p>	<p>(他団体との連携の推進)</p>

(3) 市民【C】

No	意見	備考
C-1	—	
C-2	<p>子どもの時に親の転勤で県外から転入して以来、<u>広島市は平和への取組をととても大事にしており、素晴らしい</u>と思う。</p> <p>ただ、<u>市民の参画において、転入・転出が多いにもかかわらず、被爆者やその縁者の重用が、転入者にとり、疎外感を感じるほど、過度に感じられる機会が多くあり、30年住んでいても、平和に関する「広島市民」に自分は蚊帳の外で縁遠く感じる。広島で生まれ、育ちゆく小学生の我が子が、心から「わたしたち」との主語で、核兵器や平和への思いを口に、行動していけるよう、施策を進めていただきたい。</u></p>	平和意識の醸成 (転入者からの印象)
C-3	<p><u>現在なお保有している世界各国に対して市長が核廃絶&平和への取組を積極的に訴えているので、とても良いと思います。</u></p>	2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進
C-4	<p><u>広島市だけの問題でなく、国、そして、世界的に平和への道が停滞していると感じます。</u></p> <p>しかし、広島市や市民の方の平和問題を提起する文献は数多くあり、その一部を目を通させていただいております。</p> <p>しかし、政策実行面となると、やはり利害関係が絡み難しく、歯止めが掛かるのかもしれませんが。</p> <p>しかし、東大の教授の西垣通先生の新聞記事で、<u>同士討ち、共食いは止めにして、7つの習慣のコピー博士と同様に、WIN-WIN、ブルーオーシャン戦略を取ろうとの御意見に賛同いたしたく思います。私の記憶では、官公庁の管理職の方は、地元紙、全国紙を読み比べておられると聞いており、この記事を把握しておられると思います。</u></p>	(平和行政全般の印象)
C-5	<p>学校での教育は充実していると思う。</p>	
C-6	<p><u>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組はとても良いことと思います。</u></p> <p><u>核なき世界を求め続け、全ての人類が幸せになる権利を獲得しなければ平和とはいえない。</u></p> <p><u>核兵器条約から背を向ける姿勢はあってはならないと思う。</u></p> <p><u>平和行政の継続をお願いいたします。</u></p>	2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進
C-7	<p><u>世界遺産ヒロシマピースメモリアル(原爆ドーム)を保護するための周辺の景観(バッファゾーン)が崩されています。深刻な事態です。</u></p> <p>広島平和記念都市建設法は、1949年8月6日に施行されました。先立つ7月7日の住民投票では90%以上の広島市民が同法に賛成しています。多くの被爆者も中心となって広島市を平和記念都市として再建してきたわけです。しかし、今この平和公園地区の景観を広島市長は大きく変えようとしています。<u>原爆ドームの周りに料亭を作り、元安橋のたもとにはカフェ・ポンテを広げ、原爆ドームの正面の「おりづるタワー」の1階には、オープンカフェを営業させています。</u></p> <p>(次ページに続く。)</p>	(平和記念公園(公園周辺の現状))

No	意見	備考
C-7	<p>原爆ドームを眺めながらビールやコーヒーを飲む光景が当たり前ようになってきています。果たして<u>これがアウシュビッツと並ぶ戦争の負の遺産としての原爆ドームのあるべき姿なのでしょうか。</u></p> <p>特に料亭「かき船かなわ」は悪質です。市街化調整区域に構造物は設置できません。係留船には建築確認が必要ですが、広島市は随時かつ任意に移動できる料亭「かき船かなわ」は船であるとし、これらは不要との対応をし続けています。運輸局が発行する料亭「かき船かなわ」の船検には係留船と記載されています。船舶安全法に違反しています。河岸緑地公園内には、営業目的のプロパンガス庫や変電施設の設置はできません。都市公園法に違反しています。</p> <p><u>平和公園地区の料亭移設に関わり、法律を何重にも違反する広島市の対応は平和行政の名に値しません。</u></p>	
C-8	<p><u>被爆の実相の原点が希薄ではないか。原爆を単なる観光資源にしているのではないかと思わざるを得ない。</u>市議会に注目しているが、被爆75周年の質問に対してなぜ市長が答弁しないのか。市長は観光資源に関わることは答弁されていましたが。</p>	(被爆の実相の原点の希薄化)
C-9	—	
C-10	<p>第二次世界大戦の惨劇を風化させないよう、<u>核廃絶の訴えを全世界及び次世代に呼び掛ける主体に市が立ってきたことは、とても良いことだと思います。</u></p> <p><u>悪い所は、実際に核をなくすために必要なことを突き詰めれば、極めて政治的かつ実践的な問題であるにもかかわらず、その辺りを曖昧にしている所です。そして、「原爆ドーム」や「国際平和文化都市」であることを、観光資源のように扱っており、商業主義に陥っている所です。</u></p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進</p> <p>(核廃絶に向けた問題の曖昧化)</p> <p>(原爆ドーム等の観光資源化)</p>
C-11	<p><u>核兵器禁止条約への参加を日本政府に強く求めてほしい。</u></p> <p><u>被爆伝承者が原発問題を語ることを認めてほしい。</u></p> <p><u>旧被服支廠(ししょう)を保存してほしい。</u></p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進</p> <p>被爆体験の継承・伝承その他</p>
C-12	<p><u>継続事業はいいのですが、思い切った新規事業を75周年で出してほしかった。</u>被服支廠(ししょう)の保存活動がいい例です。</p>	(平和行政全般の評価)
C-13	<p><u>良い点は平和に関する情報を多く提供していることです。ただ、もっと県外や国外への発信を強めるべきです。</u></p>	(平和行政全般の評価)
C-14	<p><u>余り具体的に良い点が感じられない。取組や訴えが、まだまだ緩いと思う。</u></p>	(平和行政全般の評価)
C-15	<p>良い点</p> <p>被爆者の高齢化により被爆体験を証言する人が減少するため、早期に伝承する人を養成しなければなりません。そのため、毎年伝承者の募集を行い、伝承者養成研修を実施しておられます。このように<u>積極的に伝承者の養成を行い、証言者の被爆体験を伝承している点は良いと思います。</u> (次ページに続く。)</p>	被爆体験の継承・伝承その他

No	意見	備考
C - 15	<p>悪い点</p> <p>被爆体験傳承者の募集は積極的に行っておられますが、<u>傳承者養成研修は、1年目は①証言の講話を聞く、②被爆の実相を学ぶ（爆風・熱線・放射線）、③被爆までの広島、原爆投下時の広島、原爆投下後廃墟の広島、広島の復興、平和への歩み、2年目は証言者との話し合い、3年目は傳承講話原稿を作成すると計画されているが、3年目の傳承講話原稿を年度末の3月に提出してくださいという指示で提出したが、原稿チェックは行われず、6期生以前の人原稿チェックが行われておらずたまっているため、1年遅れでしかも1人の証言者に対するチェックがやっとで、残り2人～3人の証言者の原稿チェックは5年目～6年目にずれ込む状態になっている。</u></p> <p>市のチェックする担当者は1人が行っており、長期間細かい所までチェックし長くなっている。<u>証言者の高齢化が現実となっている中で、1日でも早く傳承者を作り、修学旅行生への被爆体験講話を積極的に行っていかなければならないが、他県からの依頼を断っているとのこと聞くので、早く傳承者を作り、学校からの要望に応えられるよう充実させていかなければならないと思います。</u></p> <p><u>原稿をチェックする担当者を1人から3人に増やし、3人のチェック担当者が同時に証言者3人の傳承原稿をチェックし、チェックが早く完了するように途中で辞めたり情熱を失わせないように改善していただきたい。</u></p> <p>実際に傳承講話を経験していけば上手になるので、早く現場に出していただきたい。聞くところによると、今、6期生が傳承者として市から委嘱状を受ける年である。1年掛かりで証言者1人だけの原稿のチェックが完了する状況だから、3人の証言者の傳承をする人はこれから2年掛かることになる。<u>こんなに厳しい原稿チェックをするのであれば、傳承者募集時に適正チェック（文章作成能力）を検査し合格になった者を傳承者にすべきである。その場合、平和に対する強い思いで、ボランティアで行う主旨とは違う気がします。7期生まで募集し、傳承者が多くなり十分足りているとの声も聞くが、それなら募集人員を減少させるべきであり、応募者に不満となる状況を作らないようにしていただきたい。</u></p> <p><u>傳承者に応募された人は、平和に対する熱い思いを持った人ばかりです。その人達の思いを逆なでするような取扱いを行わないでほしい。傳承者は、皆不満を持っています。原爆に関することが詳しくない職員が、文章表現や主観で何度も文章のやり直しを命ずるのはやり過ぎで意味がないと思います。</u></p> <p>傳承者は証言者の経験や思いを傳承するのであるが、証言者との話し合いの中で感じたことも傳承者は伝える必要があるので、自分が感じたことが表現できなくなるからです。</p> <p>市民の市民による市民のための広島市政、秋葉忠利前広島市長の言葉を思い出し、市行政を行ってほしいと願うばかりです。</p>	<p>（被爆体験傳承者養成研修の在り方）</p>

No	意見	備考
C - 16	<p><u>NPT、核不拡散というのは、核保有国のエゴで核保有国にだけ利する取り決め。日本は、こんなものから脱退し、核保有すればいい。なぜなら、核装備は戦力の均衡を必要としないんですから。よく考えてみれば、核装備は軍縮につながるのではないか。どう思われますか。F35 が100 機は余分になるとすると、これはとてつもない軍縮（実際の数字はどうか知らないが）。中韓北の三国は日本の核装備に反対するし、市も反対するだろうが、東南アジア諸国やインドは大賛成。「日本の核武装化は東アジアの平和に寄与する」ことになるんだそうですよ。国際政治、外交上、話せば分かるという国は皆無の中で、日本のみが一步退いて議論されるのは理解に苦しむ。こんな議論をせずとも、核保有をしていれば、尖閣、竹島、北方領土なんて無かったのですし、慰安婦とか徴用工なんかも無かっただろう。</u></p> <p><u>市長は、やり方を違う方向に導いておられる。平和を口にされるのであれば、「反核で国は平和は得られないから、被爆地広島市長として核装備を支持する方向に舵（かじ）を切る。」と言ってくれませんか。票が心配？今、たかだか3割くらいの数で当選。しかし、6割強の選挙に行かなかった選挙民は、この新しい公約で選挙に来るでしょう。3割くらいの被爆絡みの人たちより、核装備賛成の人は少なくない。トランプ在任中、日本は核装備する大チャンスではありませんか。これも広島市民の端くれ。</u></p> <p>市の掲げられる平和推進とNPTとかは、選挙の公約の実行だが、よく考えてみれば自縄自縛のつまらない、国益を損なう行為なのかが分からない人が多い。そういう人のために目からうろこの良い本を紹介させていただきます。</p> <p>それは、田母神敏雄、元空爆長筆の「日本核武装計画」（祥伝社刊）というのがその本で、上梓（じょうし）が平成25年。政情が変わったところは少しあるかもしれないが、根本の変化はない。右筋の名著である。市職員はおおむね左筋が正義と思われようが、敵を知らねば戦には勝てませんよ。この本の肝は、「核は戦力の均衡を必要としない」という文言。正鵠（せいこく）を射るなのだ。政策的に無能だったオバマにハグされたくらいで舞い上がるような被団協などは、核装備に向けては邪魔なだけ。こういう人たちが市と一緒に国の足を引っ張っているんですよ。考え方が根本的に共産党。私は平和教育のなかった世代だが、今の市の職員は全員、日教組の不戦平和の洗礼を受け、右的思考が作用しない人間になってしまった。よく先生の言うことを聞いた人なのでしょう。マスコミは報道しません、市は深く静かに赤色化している状態だから、平和といえど何をしてもいい空気を作り出している。その最たることが条例作り。脱線しているか。要は右筋の本を読めということ。右筋思考が平和を引き寄せるんですよ。この本を読んで「核装備賛成にシフトしよう」と言いませんか、市長。（次ページに続く。）</p>	（日本の核保有化・核装備による軍縮）

No	意見	備考
C - 16	<p><u>全米市長会議年次総会には是非出席してください。何で？それは、ナッシュビル（テネシー州の州都だから当然市長は列席されているはず。）の市長とトップダウンで姉妹都市になることを決めてほしいから。</u></p> <p><u>この街と広島は、被爆に絡んで切っても切れないいきさつがあるんですよね。つまり、広島が被爆したのは、ナッシュビルで原爆投下を下命したからなんですよ。まさか市長は、このことを知らずに反核平和の指揮棒を振っておられるのだろうか。と疑っているのは、資料館の展示にナッシュビルの名が明記されていないから。この事実は、米国公文書館からの放出資料をNHKが報じました。これにはナッシュビルが特定されておりました。そして、かつてナッシュビル側から姉妹都市になりませんかとの打診があったが、その時の広島の市民感情はそういう空気ではなかったの、市は断られたように記憶する。ところが、今、NPTなんて行き詰まり。打開策なんかないでしょう。脱退自由らしいし、核武装してもいいらしい。インド、パキスタン、北朝鮮がそうでイスラエルも・・・。NPT、総括すれば核保有国のエゴとザル法。ここは放っておいて、<u>反核について話し合えるきっかけになる可能性があるのは落とした所、ナッシュビルとの姉妹都市。</u>いつまでも被爆者なんか言っていると水と油。オバマや重慶なんかとのリンクよりナッシュビルとの姉妹都市、歴史的出来事となりますよ。</u></p> <p>トンネル掘るより、手紙を、立ち話で決める腹芸を見せてほしいな。クリエイティブと言わせる市長のブレーンはいないだろうか。</p> <p><u>核兵器廃絶に向けた国内外の世論の醸成について、これで幸せになったというやつがいるのか。いやしない。速やかに富国強兵、核装備に改題しよう。</u>これで幸せを感じる国民、市民は多いのではないか。核廃絶の世論の醸成で厭戦（えんせん）ムードをあおり、CHINA（と特定してしまうが）を喜ばせることを市は公然とやっている。ということは、市は親中派に乗っ取られていて、市長は無所属での立候補だったと思うが、実質共産党、つまり表記詐称だった。そういえば、最近のテレビに写る市長の顔も中国人のような。</p> <p>醸成しないといけないということは、醸成しないといけないとする左派にとって困るのが、最近分かったことだが、右派の市民がかなりいることにほかならない。いいね。それは、慰霊碑前に座り込む被団協と田母神氏の講演に集う聴衆の対比。ワンサイドで田母神氏の勝ち。これを目にしたら、醸成派は焦るよね。だからか、市長、市会に核装備を公的に立候補したら、選挙に来なかった6割以上の人間が選挙に来て、3割くらいで市長になっている今の市長も危ういだろうか。市会も全区8人当選。なんてね。<u>醸成なんて右派台頭の封じ込め策なんだろうね。</u>読めるぜ、左の人の考えることが。狙うところはカープ愛よね。これが戦争を厭（いと）わないものになるのは嫌だよね。言葉はある意味、魔術。<u>醸成などと言うが、要はだますってことではないかと思っています。</u></p>	<p>(ナッシュビルとの姉妹都市提携)</p> <p>(核兵器廃絶に向けた世論の醸成に対する評価)</p>

問2 平和の推進に関する条例の必要性や、その条例に盛り込む内容等

(1) 平和関係団体【A】

No	意見	備考
A-1	<p>放射線被爆(曝)の危険性は、核兵器に限らず原子力施設においても起こり得ることは東京電力福島第一原子力発電所事故でも明らかとなりました。また、使用済み核燃料の最終処分の方法も解決していません。原子力発電所は通常兵器による攻撃でも核物質の飛散による被曝をもたらします。戦争による核兵器の使用に限らず国家に管理されないテロリストによる核兵器使用の懸念もあります。</p> <p>人類初の核兵器による被爆を体験した広島市として、核兵器に限らず、原子力発電を始めとして全ての核利用からの脱却を目指すことが人類が存続していく上で重要であるというメッセージを、世界に強く発信することのできる内容としていただきたいと思います。</p>	<p>条例に盛り込む内容 (平和の定義)</p>
A-2	<p>核兵器廃絶に絞った内容であるならば、その必要性については疑問を抱かざるを得ません。また、平和を単に「戦争のない状態」としか定義しないにしても、世界各地で起きている紛争に無関心、若しくは無視する態度を続けてきたことをどう改めていくのかが問われるでしょう。</p> <p>広島市が推進しようとする平和とは何かをまず定義することから始めてはいかがでしょうか?その定義が明確でない限り、その条例の意義も薄れることでしょう。</p>	<p>条例に盛り込む内容 (平和の定義)</p>
A-3	<p>回答辞退 (本会の活動趣旨(広島市の観光振興)等に沿わないため)</p>	
A-4	<p>市民が平和に暮らせるように次のような条例を作り米軍に訴えてはどうでしょうか。</p> <p>(1) <u>軍隊通行禁止条例</u> 広島市内にいかなる軍隊も入ることを禁止する条例です。</p> <p>(2) <u>軍隊飛行禁止条例</u> 広島市上空を軍隊が飛行することを禁止する条例です。</p> <p>これは、広島市は軍隊による防衛を求めていることを訴える、市民の交流により平和を守るという訴えになると思います。そして、軍隊の事故による市民の命の危険を避けることができます。</p>	<p>条例に盛り込む内容 (軍隊の通行・飛行禁止)</p>
A-5	—	
A-6	<p>回答辞退 (本会は、被爆者の健診等を実施する団体であり、平和関係団体とは一線を画しているため)</p>	
A-7	—	
A-8	<p>広島市の担当課長は「式典中のデモの音は参列者の心情を害し、式典の目的を達成する公共の福祉を損ないかねない。表現の自由との調整が必要だ」と説明しながら公権力でデモの拡声器を規制する条約を制定しようとしています。この条例は、憲法で保障された表現の自由を規制するものであると思います。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>(平和記念式典中のデモの音量の規制)</p>

No	意見	備考
A - 8	<p>今年6月23日の沖縄全戦没者追悼式でも「安倍帰れ」の声が響きました。また、会場の周りからも例年以上にヤジが多数揚がりました。式典の主催者は、事前に静かにするよう呼び掛けてきたといいます。これに対して、沖縄県の玉城県知事は「犠牲者を慰霊する式典なので静ひつを保ちたいが、それぞれの気持ちや意見があるということは理解できる」と答えています。</p> <p>平和祈念式典は、単なる犠牲者の冥福を祈る行事にとどまらない歴史があります。終戦後、占領軍のプレスコードで原爆反対や被爆の実相を訴えることは反米として封じられ、朝鮮戦争が起きた1950年には占領軍の圧力で平和祈念式典も中止されました。このような言論の自由を奪う圧力に抗した被爆者や市民の運動の中で民主主義が確立していきました。このことを私たちは忘れてはいけないと思います。<u>平和祈念式典の静寂の中で、犠牲者の冥福を祈りたいという願いは当然ですが、最も尊重されるべき基本的人権である表現の自由を公権力で規制することは、被爆地ヒロシマの行政としてふさわしくないと</u>思います。「平和の推進に関する条例」制定はやめていただきたいと</p>	
A - 9	—	
A - 10	—	
A - 11	<p><u>核兵器廃絶の意義の普及など、広島市民がより身近に平和活動に参画できるような条例があるといいと思う。</u></p>	<p>条例に盛り込む内容 (市民の平和活動への参画を容易にする内容)</p>
A - 12	—	
A - 13	<p>新聞で報道され、前回アンケートを採られました<u>騒音防止の条例化についてですが、私どもは条例化すべきではないと考えています。一たび条例化してしまえば、時間の経過とともに規制の対象が彼らだけでなく市民にも向けられてくることは、これまでの各種の条例で経験しています。条例化ではなく当事者との話し合いで式典に参加している遺族や参加者の思いを粘り強く伝えていただくことが大切</u>と</p> <p>今年是比较的静かであり気になりませんでした。</p> <p>* 安倍首相が、国民を護るために一日も早く核兵器禁止条約を批准し、戦争を防止する政治を心から行えば、式典への騒音はなくなるかもしれませんね。</p>	<p>(平和記念式典中のデモの音量の規制)</p>
A - 14	<p>問1でも述べたことと重なるが、「ヒロシマの実相を見てくれれば分かる」は、それだけでは無力だ。必ず、それ以外にない仕方がないものとしての核兵器使用が対置され正当化される。NPTによって核兵器を独占する国々が核軍拡競争にのめり込もうとする現状がそれを示している。</p> <p><u>条例が必要とすれば、以下の項目になると思う。</u></p> <p>0) <u>被爆者と市民を主体とし、何のための式典かを問うた上で、平和式典の在り方を追求する。</u> (次ページに続く。)</p>	<p>条例に盛り込む内容 (平和記念式典の在り方の追及)</p>

No	意見	備考
A - 14	<p>1) <u>広島への原爆攻撃の歴史的な意味を明らかにし、その責任を市を挙げて追求できる理論の構築を行うこと。平和研究所がその任を果たしているかの検証を行うこと。</u></p> <p>2) <u>安倍政権による自衛隊明記と緊急事態条項導入が「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起」こそ危険性を持つことを被爆都市の責任で明らかにし、絶対平和都市としての立場を宣明すること。</u></p> <p>3) <u>広島市は2011年の福島原発事故を反省し、原発反対を表明すること。</u> <u>ヒロシマとナガサキの惨禍を経験しながらも、核兵器の平和利用に賛賛してきた広島市行政の在り方は犯罪的である。それをもたらしたものは、ABCCによる被爆被害における内部被曝の無視であった。いうまでもなく、1945年9月占領軍のファーレル准将が「原爆で死ぬべきものは死んでしまい、現在原爆症によって苦しむものは皆無」とした声明によって、核兵器の放射線が人類の細胞を破壊する非人道性を否定してきたことが隠蔽された結果に屈服したものであった。その象徴が1956年原爆資料館を舞台に繰り上げられた「原子力平和利用博覧会」であり、その2年後の1958年には資料館は会場の一つとして「原子力科学館」と一時的に名称を変更までして、アイゼンハワーの「atomic for peace」に迎合した。原爆と原発は一つのものである。そのことを福島原発事故は衝撃的に突き出した。</u></p> <p>4) <u>広島市行政が過度に被爆者・被爆証言伝承者の活動に介入することを禁止すること。</u> <u>本来、被爆者（家族）の核兵器への抑えがたい怒りから証言活動に参加しているにも関わらず、「政治的な発言」、「原発への言及」は避けるように指導される現状がある。市の指導に従わなければ、証言活動の場を奪われると証言者を萎縮させてはならない。</u></p> <p>5) <u>以上の項目を遂行するに当たって、単に専門家の狭い枠内ではなく、絶えず被爆者（家族）と市民に正当性が検証されるよう開かれた討論の場を開くべきである。平和国際都市の建設という美名で多くの力無い住民市民が住まいから追い出された時のような、法を盾に取っての強権的な政策の実行は二度と行ってはならない。</u></p>	<p>(原爆攻撃の責任の追及)</p> <p>(政権に対する被爆都市の責任)</p> <p>(原発反対の意見の表明)</p> <p>(行政による過度の介入禁止)</p> <p>(開かれた討論の場の開催)</p>
A - 15	—	
A - 16	—	
A - 17	<p><u>8.6 式典で「広島市拡声器使用デモ規制検討へ」としているが、憲法で保障する表現の自由に抵触するのではないのでしょうか。条例は制定しない方向でお願いします。</u></p>	<p>(平和記念式典中のデモの音量の規制)</p>
A - 18	—	

No	意見	備考
A - 19	<p>今回のアンケートの元になった騒音防止の条例化についてですが、私どもは浜井市長が語っている公安条例制定の経過を思い出します。たとえ善意で始まった条例でも、そのうちに拡大・強化されるということを戦前に体験してこられた浜井市長ならではの言葉でしょうが、平和が脅かされていると感じるこの頃です。当事者との話し合いで式典に参加している遺族や参加者の思いを粘り強く伝えていただくことが大切と思っております。政治家は、いろいろな批評を甘んじて受けてこそ政治家であると思えます。</p>	<p>(平和記念式典中のデモの音量の規制)</p>
A - 20	—	
A - 21	<p>平和の推進に関して、条例で定める必要があるくらい今、平和に関して意識が薄くなってきているということなのだろうか。なぜ今平和の推進が必要なのかを一人一人に働き掛けていくことは必要であるが、強制的にならないようにしていただきたい。</p>	<p>条例の必要性 条例に盛り込む内容 (強制的でないもの)</p>
A - 22	<p>核兵器廃絶が進むよう、唯一の戦争被爆国である日本が核兵器禁止条約を支持し、批准を目指していけるよう、広島市が先頭に立って推進していただきたいです。 その立場をしっかりと表明していただきたいと思えます。</p>	<p>条例に盛り込む内容 (広島市の立場の表明)</p>
A - 23	—	
A - 24	<p>表現の自由などの基本的人権や、結社の自由を侵害、若しくは抵触するような内容の条例には賛同できない。平和記念式典において、特定の団体が拡声器などを使って静謐(せいひつ)な雰囲気損なう行為をされていることは承知しているが、個人を規制する可能性がある「条例」によって市民全体に影響を及ぼすべきではない。ただでさえ、被爆者は声を上げることを封じられた歴史を持つ。被爆者や市民は、長年この圧力に対して闘い、表現の自由を勝ち取ってきた。平和都市広島として、その歴史を強く自覚していただき、平和の推進に関する条例は制定しないよう求める。</p>	<p>(平和記念式典中のデモの音量の規制)</p>
A - 25	<p>・条例の制定により、平和の推進の機運が更に高まれば良いと思う。 ・本団体は、広島に蓄積された被爆者医療や放射線障害の研究成果を、世界の放射線被ばく者医療に役立てる国際貢献を目的としているが、そのような取組を支援する内容を条例に盛り込んでいただきたい。</p>	<p>条例に盛り込む内容 (被爆者医療等による国際貢献の取組の支援)</p>
A - 26	<p>どういった条例になるか、中身によります。 「平和宣言」の作成の仕方が、長崎市では市民の意見を取り入れる「起草委員会」的なものがありますが、広島市でもこのような委員会を設置すべきではないでしょうか。 また、平和行政の推進に当たっては、恒常的に市民の意見を聞く場を設けることを求めます。</p>	<p>(恒常的に市民意見を聞くための場の設定)</p>
A - 27	<p>広島市は平和行政に力を入れておられることは平和担当の部署が沢山ありよく理解できます。 もう少し国に対する平和行政の要望が通りやすいような条例が出来たらと思えます。</p>	<p>条例に盛り込む内容 (国への要望が通りやすくなるような仕組み)</p>

No	意見	備考
A - 28	<p>回答辞退 (事務局の移転等により対応困難であるため)</p>	
A - 29	<p><u>平和の推進に関する条例が、少なくとも現時点では、必要であるとは思わない。</u></p> <p><u>まず、例えば北朝鮮の弾道ミサイル発射、中国を含めた中距離核戦力の廃棄条約の締結等々の具体的問題・課題に対して広島市は声を上げるべきであり、これに関して市議会も市と密接なコミュニケーションを図るべきである。</u></p> <p><u>これに関して、市も市議会も、市民、市民団体等との対話・討論を拡充すべきである。</u></p> <p><u>以上のような行動の開始と積み重ねが必要であると考える。</u></p>	<p>条例の必要性</p>
A - 30	<p>—</p>	

(2) 平和関係の有識者【B】

No	意見	備考
B - 1	<p>もちろん、8月6日の出来事を忘れないこと、伝えることは重要だ。伝承者プログラムは、これをきちんと上手にやっている例だといえるだろう。被爆者証言や原爆の詩の朗読をしているグループもあり、どれも大変効果的だ。こうしたプログラムは継続されるべきである。</p> <p>ピースボランティアのプログラムも大変効果的かつ重要である。この点において、なるべく多くの言語で対応できるボランティアの養成に努めなければならないが、最低限、英語ができるボランティアは増やすべきである。</p> <p>被爆者が次第に亡くなっていき、人類はますますストレスの多い惑星において生き残りをかけた闘いに直面する中、広島は過去ではなく未来へと焦点を移すべきである。平和文化センターというのがあるが、平和文化とは何なのか。今日の我々の生き方とどう違うのか。広島全てが、平和で持続可能な生き方の模範となるべきである。その方向に向かってほんの数歩進むだけでも、広島の知名度は更に上がり、訪問者数も更に伸びるだろう。</p> <p>広島は、川を遊泳可能なレベルまできれいで安全にし、様々なウォータースポーツ等を盛んにすべきである。これは平和公園でははならないが、相生橋の北側では、川や川辺で楽しい活動が行える潜在性は非常に大きい。具体的な取組については、ベニスに派遣団を出して視察させると良い。</p> <p>広島には既に、フラワーフェスティバルと冬のイルミネーションがある。平和文化の街となるには、芸術、音楽、劇、映画、プロジェクトンマッピングなど、ありとあらゆる楽しいことを、ほぼ途切れなく年間を通じて提供すべきである。楽しいことといっても、単なる娯楽ではなく、平和のメッセージが込められた芸術性を伴うものにしてほしい。</p> <p>爆心地から半径2,000メートル内においては、ガソリン使用の車、トラック、バスは乗り入れ禁止にすべきである。この範囲は、原爆により破壊され、焼き尽くされた地域にあたる。今度はここを、持続可能できれいな都市生活の模範とすることもできるだろう。イタリアのフローレンスを始めとする他都市の中には、既に市中心部の車両禁止を実行し、良い効果をもたらしているところがある。広島市中心部でも、徒歩、自転車、公共交通機関、電気自動車のみが許可されるべきである。</p> <p>資料館、会議場、こども科学館、グリーンアリーナなどを含む公共施設では、できる限り太陽光発電が使用されるべきである。そしてグリーン・パワー・ハウス（映画『The Need to Grow（育つ必要性）』参照）を中央公園に造り、先述の建物に、きれいな再生可能エネルギーを追加で供給するとよい。広島は二酸化炭素排出を徹底的に減らし、他都市にその方法を教示するリーダーとなるべきである。ドイツのハノーバーは、既にこの方向で大きく前進している。</p> <p>（次ページに続く。）</p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他</p> <p>（ピースボランティアの取組）</p> <p>（広島市の未来への方向性）</p> <p>（河川の活用）</p> <p>（平和文化の街となるための取組）</p> <p>（爆心地周辺へのガソリン車等の乗り入れ規制）</p> <p>（公共施設における二酸化炭素排出量削減のための取組）</p>

No	意見	備考
B - 1	<p>持続可能性への投資は、観光の拡大や他都市からの援助依頼によってすぐに元が取れるだろう。日本には使うべき、また世界と共有すべき技術がある。広島もそうした交流を促進できるだろう。</p> <p>広島が真に平和文化都市となるためにできることは、他にもまだ沢山ある。先ほども述べたように、もっと説明したいところだが、これだけでも十分概要は御理解いただけたと思う。</p>	
B - 2	<p>個人的には、条例化⇒ルール化というイメージがあり、全体主義的な香りがして余り好きではありません。もっと自然に皆が賛同できたり、参加できたりする方法は無いのでしょうか。</p>	条例の必要性
B - 3	<p>条例となると、作ることに参加したこともない私には新たに考えたり、付け加えたりすることは不可能に思えます。</p> <p>条例の原案ができた時点では、こんな私でも何か発言できるかな？と 思っております。よろしくお願い申し上げます。</p>	
B - 4	<p>平和の推進に関する条例は必要と思われま</p> <p>そのためにはまず基本的なコンセプトの確立の必要性があります。現在、サッカー球場の建設や中央公園の施設整備など、思い付き的な政策が推進されています。本当に現時点で深く考え、決定しなければならないことは何か、このような基本的な問題設定と検討体勢が不完全、不十分です。</p> <p>条例制定の最大の課題は、被爆100周年をどのように迎えるのか、ということではないでしょうか。このことが当面、25～30年間の条例の基本的テーマではないでしょうか。その先は、どうしてもよいのではなく、この100周年を乗り切った後に、自然に浮き上がる次のテーマに移行すればよいのです。</p> <p>条例の基本的骨格をどのように組み立てるか、市民的議論と、専門的問題提起と、相互に絡みつつ検討を進めていくべきでしょう。</p> <p>広島は1949年に制定された「広島平和都市建設法」に基づいて、平和記念都市として国からの特別の補助を得て、全国、世界からの大きな支援を得て進んできたのです。このような中で、今後どのような都市政策を展開し、全国に、世界に対応していけばよいか、極めて大きな、重要なテーマです。これに怠っていき気概なくして条例制定は意味がないといえます。世界史的、人類史的な展望が必要です。このような構想力を持つ人たちの貢献が必要です。</p>	<p>条例の必要性 条例に盛り込む内容 (確立された基本的なコンセプトに基づいた内容)</p> <p>(被爆100周年を迎えることを想定した内容)</p> <p>(平和記念都市としての今後の都市政策の在り方を踏まえた内容)</p>
B - 5	—	
B - 6	<p>● 条例を制定するのであれば、一番に核兵器禁止条約参加を謳(うた)うべきだろう。カナダのサーオ節子さんも繰り返し訴えているように、これだけは市が政府と同じ意見である必要はない。世界の122カ国の賛成で生まれた核兵器禁止条約に、世界最初の被爆地が尻込みしては、顔向けができない。平和首長会議の総意として各国に賛同を求めながら、国内向けには態度を明確にしない姿勢は矛盾するのではないか。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>条例に盛り込む内容 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p>

No	意見	備考
B - 6	<p>安倍政権は毎年「非保有国と保有国の橋渡し」を強調するが、安倍さんが国際会議で核兵器廃絶について具体的に何を働き掛けて、何を各国に伝えてきたのか、一向に伝わってこない。</p> <p><u>平和文化センターは原爆展の開催など各地で行っているが、原爆展の会場で署名活動などしてみてもどうか。無理ならアンケート調査で「核兵器禁止条約への参加の是非」を尋ねてみればよいと思う。平和文化センターの事業で「核兵器廃絶に向けた国内外の世論の醸成」の予算案では「署名活動の展開」は予算ゼロ。予算化できないのなら最初から項目を設けない方がいいのではないか。</u></p> <p><u>I CANの事務局長ベアトリス・フィンさんも被爆75年と東京五輪が重なる2020年に「世界が注目する中で被爆地が強いメッセージ」を期待している。広島市がリードしないと各国の署名・批准の動きは鈍るばかりだろう。</u></p> <p>● <u>広島県の湯崎知事は、国連総会で採択された日本政府提出の核兵器廃絶決議について「多くの国の賛同を得ようと表現を弱め、結果として賛成国が減った。核兵器廃絶に向けて力強いリーダーシップを発揮してほしい」と政府に注文した。核兵器廃絶については、強い意志を持って世界にアピールしないと、特に非保有国からは「腰が引けている」とみられる。ローマ法王が元首を務めるバチカンも、国連で核兵器禁止条約の成立に賛成し、先頭を切って加盟手続を済ませた。非人道性への被爆者の怒りを、広島市は態度で示さなければならない。</u></p>	
B - 7	<p>「平和の推進」とありますが、<u>広島市の平和の柱は核の問題のみです。</u></p> <p>ユネスコ憲章前文に、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあります。</p> <p>前総領事徐張恩（ソザンウン）氏が「殴った方は忘れるだろうが殴られた方は忘れない。」と言われました。</p> <p><u>核は確かに悲惨な結果を生みます。しかし、戦争そのものを無くさなければ核は無くならないでしょう。宇部の海底炭鉱、長生炭鉱を御存じですか？旧日本政府は人ではないような事を沢山して、全て負の遺産には蓋をして隠してしまいました。</u></p> <p>長生炭鉱（海底）では、朝鮮人労働者（強制連行）が水没事故の為、136名も、今も暗く冷たい海底に放置されたままです。</p> <p>様々の負の問題は次世代に関わってくるでしょう。これまで旧日本政府がした事は、現大人が知らない人が多いのです。</p> <p>私は現在、中国に関しては中国残留孤児問題、韓国に関しては朝鮮通信使に関して総領事館と、そして日本の次世代の若者に関しては、物作りの重要性を一緒に実動しているつもりです。</p>	<p>条例に盛り込む内容 (平和の定義)</p>
B - 8	<p><u>人類史上初めて被爆した都市として、平和の推進に向けた取組を継続する必要性については賛同する。条例の必要性については判断できないが、条例を制定するのであれば、核兵器廃絶や世界恒久平和の実現に寄与するものとしてほしい。</u></p>	<p>条例に盛り込む内容 (核兵器廃絶や世界恒久平和の実現に寄与するもの)</p>

No	意見	備考
B - 9	<p>条例制定に関しては、まず「被爆から74年が経過した今日の時点で、なぜ?…」との市民の疑念に明快に答える必要があるのではないかと、市民の意見を聴くためインターネット・アンケートを進めているとのことだが、その声は最大限に生かしていただきたい。</p> <p>御承知のことと思うが、核被害とは直接関係ない神奈川県藤沢市は、昭和57年6月に「核兵器廃絶平和都市宣言」をし、平成7年3月には「核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」を制定している。目的、定義、基本原則、平和事業など5条から成り、市の果たすべき役割を明快に位置付けている。広島・長崎の市長講話や被爆地ヒロシマへの「親子記者・広島派遣事業」などに多面的な取組をして、市民の平世意識の醸成に努めている。制定から今日までを検証すれば、参考にすべき点があると思う。</p> <p>被爆地・広島が被爆75年の節目に条例制定に踏み切るのなら、有識者、平和研、市民、被爆者援護団体などの英知を結集し、まず「今なぜ条例制定なのか」の問いに明快に答え、その上で今日にふさわしい条例を制定していただきたいと切に願っています。</p>	<p>条例の必要性 条例に盛り込む内容 (市民意見を反映した内容) (藤沢市の取組を参考にした内容)</p>
B - 10	<p>条例は地方自治体の範囲内のみ効力があるものですが、かつて公害問題が深刻だった時、神奈川県だったと思いますが、国の基準を上回る公害防止条例を制定したことがありました。法律論からすると、地方自治体の条例は国が制定する法律を凌駕(りょうが)することは困難なのかもしれませんが、平和の推進は、法律や条約をも超える人類普遍の責務ですので、誰にも遠慮することなく平和構築に積極的な条例を目指すべきだと思います。</p> <p>また、平和の推進は、人道の推進、貧困や差別の解消を進めることでもあります。これらは平和の推進と関係がないと思う方もおられるかもしれませんが、これらが実現されない限り、一人一人の市民に本当の意味での平和は訪れることはありません。</p> <p>是非これらの視点も織り込んでいただきたいと思います。</p>	<p>条例に盛り込む内容 (積極的に平和の構築を行うための内容) (平和の定義)</p>
B - 11	<p>設問の問1~3をまとめたものとして、下記を回答します。</p> <p>区分されている「核兵器の廃絶」、「平和意識の醸成」、「被爆体験の継承、伝承」、「平和記念資料館 管理運営、施設整備」については更なる進展と強化を希望します。</p> <p>街づくりや生活空間の基盤である「広島平和記念都市建設法」に関する認識や意識にはやや弱さを感じています。今後の蓄積と推進と強化を希望します。</p> <p>「市民球場跡地」、「基町アパート」、「旧日本銀行広島支店」、平和大通の東の端「比治山公園」、平和大通り西の端「西広島駅周辺」、「平和西大橋」等は、「広島平和記念都市建設法」の理念の基に、総合的な計画、検討を必要とするテーマと考えます。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>【再掲】</p> <p>(平和記念都市建設法に関する認識等の強化)</p> <p>(平和記念都市建設法の理念に基づいた都市づくり)</p>

No	意見	備考
B - 11	<p>これらのテーマの進展と結実は、項目「平和意識の醸成」において、住民にはもちろんのこと、国内外からの来訪者に対しても発信力は大きいと考えます。</p>	
B - 12	—	
B - 13	—	
B - 14	<p>平和推進関連条例についての要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「憲法（第9条）」、「広島平和記念都市建設法」のキーワードを盛り込むこと。 ○「平和関係団体」との連携の重要性への言及 	<p>条例に盛り込む内容 （「憲法（第9条）」、「広島平和記念都市建設法」のキーワード） （「平和関係団体」との連携の重要性への言及）</p>
B - 15	—	
B - 16	<p>広島市の「平和行政」を単なる継続ではなく活性化するには、市民の代表からなる議会の意識的な取組が不可欠であり、そこからの条例制定であれば歓迎したい。</p> <p>史上初の「被爆都市」であることを、今の将来の市民のみならずヒロシマに関心を寄せる人々に伝え、核兵器廃絶は人類共通の課題・目標であることを訴える、被爆地広島で培ってきた「理念」や「精神」、平たくいえば広島の「気概」を条例にうたっていただきたい。</p> <p>「世界遺産」となった原爆ドームの保存を巡り、市議会は1966年の決議に当初は積極的ではなかった。浜井信三市長が保存を訴えて独断で、東京・数寄屋橋での街頭募金に立ち、それに押される形で決議に至った。とはいえ、市議会が共に取り組んだことで国の文化財保護委員会を動かし、保存修理費の獲得をみたのである。</p> <p>原爆資料館は、1955年開館時の「広島平和記念資料館条例」で被爆資料の収集・保管・展示、調査研究をうたったが、図録は長い間作られなかった。旧平和記念館が資料館東館に改装されて収蔵庫もできた94年に条例は全面改正され、「平和学習・被爆体験の継承」の促進を盛り込んだ。市が98年に再編の広島平和文化センターに資料館の管理・運営を委託したことも議会が認め、学芸員の専従配置や企画展実施が進み、99年の図録「ヒロシマを世界に」（127頁）の発刊をみる。議会が果たした、果たすべき務めは重要である。</p> <p>「平和推進条例」は全国で約60自治体にあるとされる。昨年に制定された横浜市の「国際平和に関する条例」をみると、「昭和20年5月29日の横浜大空襲により多くの尊い命が犠牲になったことを忘れることなく、国際平和の推進のため…」と冒頭にうたっている。転入増が続く「新」市民にも記憶の継承を促している。</p> <p>被爆都市が「平和推進条例」を作るのであれば、原爆の惨禍を記憶し、人間に悲惨をもたらす核兵器に抗議し、共に生きる世界をつくることを、しっかりとうたってほしい。</p>	<p>条例の必要性</p> <p>条例に盛り込む内容 （史上初の「被爆都市」であること） （核兵器廃絶は人類共通の課題・目標であること） （被爆地広島で培ってきた「理念」や「精神」、広島の「気概」）</p> <p>条例に盛り込む内容 （原爆の惨禍の記憶） （核兵器への抗議） （共生世界の創造）</p>

No	意見	備考
B - 17	<p>1945年8月6日、8月9日に何があったのかを全ての人々が知っているという状況になるようにしたいと思います。</p> <p>そして、それを繰り返す事がないようにする意思を共有することが大切だと考えます。</p>	<p>(8月6日、8月9日の出来事の周知の必要性)</p>
B - 18	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに、広島市において平和に関する条例は見当たらない。平和記念資料館、レストハウス等は、条例が設置してあるのに。 ・是非とも、広島市が目指す平和とはどんなものを明確な指針を目指す条例が必要であると思う。 ・そういう条例のようなものがあれば、世界遺産の原爆ドームの位置付け、『平和首長会議』の在り方等が分かりやすく示されるのではないかと思う。 ・広島市長は「迎える平和」と言っている。 世界各国から広島に来てもらって、ヒロシマを知ってもらう、というようなスタンスだと思う。 平和に関しての条例を作ろうと思えば、これらとの整合性を図る必要がある。 ・『平和推進に関する条例』(仮称)には、はっきりとした目的をもった条例にすべきであると思う。 核兵器廃絶を目指すヒロシマ。 被爆都市ヒロシマ。 平和希求といっても、環境、生活、紛争等、漠然としていろいろあり、何をを目指す平和のヒロシマなのか。 	<p>条例に盛り込む内容 (広島市が目指す平和の内容の明確な指針) (迎える平和との整合性を図った内容) (平和の定義)</p>
B - 19	—	
B - 20	—	
B - 21	<p>条例の制定について</p> <p>条例の制定目的、具体的内容が説明されていません。何かを取り締まる押し付け条例になるようなものなら困ります。説明がないので意は言えません。</p>	<p>(規制条例には反対)</p>
B - 22	<ul style="list-style-type: none"> ○明確に「核兵器廃絶を目指す」と明記してください。 ○「広島市は市民の平和活動を支え、サポートする」という一文を入れてください。 ○広島平和記念都市建設法の第1条、第6条を明記してください。 <p>(参照) 広島平和記念都市建設法 《目的》第1条 この法律は、恒久の平和を誠実に実現しようとする理想の象徴として、広島市を平和記念都市として建設することを目的とする。 《広島市長の責務》第6条 広島市の市長は、その住民の協力及び関係諸機関の援助により、広島平和記念都市を完成することについて、不断の活動をしなければならない。(次ページに続く。)</p>	<p>条例に盛り込む内容 (「核兵器廃絶を目指す」と明記) (「広島市は市民の平和活動を支え、サポートする」という一文を明記) (広島平和記念都市建設法の第1条、第6条を明記)</p>

No	意見	備考
B - 22	※ 8月6日の平和記念式典の場での騒音を条例で取り締まるのではなく、まず、様々な団体との対話の場を設けることが必要だと思います。	(平和記念式典中のデモの音量の規制)
B - 23	手話通訳者、要約筆記を！	
B - 24	<p>広島市の平和行政を将来にわたり着実に継続、推進するための指針となるものとの市議会からの依頼文から読み取れば、<u>継続性と将来の指針となるものを広島市の条例としたいという事でしょう</u>と思います、自分なりに書いてみました。</p> <p><u>平和の推進に必要な物とは？</u></p> <p>核廃絶＝平和と簡単にはいかないのが現実であり、核廃絶までの道すらため息が出るほどに先が見えないのです。現実的な問題は、<u>平和の推進に必要なものとして広い視野を持つべき時代に入ったように思います。</u></p> <p><u>広島市として核廃絶を旗印としてそれにのみに固執するのではなく、</u> <u>並行して人種差別、性差別、貧富の格差、その他による諸々(もろもろ)</u> <u>の差別等々と共に資料館の展示も常設展示は大事ですが、それと並行して</u> <u>展示物を期間限定で問題提起をする事が来館者に考える、伝える、また</u> <u>来館したくなる期待感を持って帰ってもらえるのではないでしょう</u> <u>か？</u></p> <p>これからの時代は、1度広島に行けば充分ではなく、自分の世界観を育てるために何度でも来館となってほしいのです。</p>	<p>条例に盛り込む内容 (平和の定義)</p> <p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p>
B - 25	—	
B - 26	—	
B - 27	<p>先程の件に続きますが、<u>デモの行動を条例に入れることは無理なの</u> <u>でしょうか？</u></p> <p><u>「思想をこの式典では発しない」とはいかないものでしょうか？</u></p> <p>言論の自由では無理と思いつつ願っています。</p>	(平和記念式典中のデモの音量の規制)
B - 28	<p><u>現在、被爆者の高齢化が進んでいます。</u></p> <p><u>広島市には、被爆の体験談等を風化させることなく、次世代に継承し、</u> <u>活動を繁(つな)げていかなければならないという、大きな責務・役割</u> <u>があると思います。</u></p> <p><u>そのためにも、次世代に対する継承教育や平和に関する市民共通認識</u> <u>の推進、条例等の策定も必要と考えます。</u></p> <p><u>広島市が、「国際平和文化都市という未来像」の実現に向けての、明確</u> <u>化が必要と思います。</u></p>	<p>条例の必要性 条例に盛り込む内容 (「国際平和文化都市という未来像」の実現に向けて明確化する内容)</p>
B - 29	<u>8/6式典時の拡声器使用に関する条例に関しては、被爆者、遺族の方、</u> <u>さらには市民の意見を聞くことが必要だと考えます。</u>	(平和記念式典中のデモの音量の規制)
B - 30	—	
B - 31	<u>地方自治体の視点に基づくものとして、平和推進条例の必要性は高い</u> <u>と思う。</u>	条例の必要性

(3) 市民【C】

No	意見	備考
C-1	<p><u>今の原爆の実相や戦争の愚かさ、平和の大切さなどを被爆者や伝承者が伝えることは平和活動に重要なことだと思います。是非、課題を点検し、続けてください。</u></p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他</p>
C-2	<p><u>余り具体的な内容を多く盛り込むのではなく、基本的な理念や他の施策や具体的な方策に様々に波及していくような、頻繁な改正が必要でなく、他の都市にも広がるようなものでもよいのではいかと思う。</u></p>	<p>条例に盛り込む内容 (基本的な理念等を中心にした内容)</p>
C-3	<p><u>引き続き核廃絶&平和に向けた取組を盛り込む事が、とても必要だと思います。</u></p>	<p>条例に盛り込む内容 (核廃絶と平和に向けた取組)</p>
C-4	<p><u>一部の狂信的テロリストによる破壊活動、騒乱、騒擾(そうじょう)には、絶対的法規で対応していただきたいです。</u></p> <p>一部の日本の法規にグレーゾーンがあることと、例外規定の抜け道を法学者の先生が指摘しております。常軌を逸して、累犯を重ねる者は、厳重処罰だと思います。</p> <p>それと、世界の核兵器が、絶対にあってははいませんが、地球を全滅させる必要充分量を超えているとの報道もあり、<u>軍備拡張は止めてほしいです。</u></p>	
C-5	<p><u>市長に積極的な平和行政を推進してもらうための条例であれば良いと思う。</u></p>	<p>条例に盛り込む内容 (積極的な平和行政の推進につながる内容)</p>
C-6	<p><u>核兵器禁止条約を推進すべき。</u></p> <p><u>広島から強く発信していただきたい。</u></p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p>
C-7	<p><u>平和の推進に関する条例に盛り込む内容の一つには、平和公園地区の景観を維持・発展させることがあります。</u></p> <p><u>被爆者や被爆者団体、地元町内会等が反対する平和公園地区での料亭やオープンカフェなどの営業を野放しにしてはなりません。撤去させるべきです。</u></p> <p><u>この地域での、宴会席の営業は慎むべきです。多くの原爆死を遂げた方々の無念の思いを受け継ぐ平和推進条例にすべきです。特に平和公園地区は当時、建物疎開作業に従事した動員学徒達の墓所とも言うべき場所です。平和公園地区の静謐(せいひつ)な環境はより強めなければなりません。忘年宴会や夏のビアパーティーなどの場所に供してはなりません。</u></p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>条例に盛り込む内容 (平和記念公園地区の景観の維持・発展)</p>

No	意見	備考
C-7	世界から広島を訪ねる人々は、これらの営業に不信感を示し始めています。現状は、世界遺産原爆ドームは、かなり危険な状況と見るべきです。	
C-8	<u>被爆体験継承者の取組により一層取り組んでいただきたい。アウシュビッツと並んで世界のヒロシマである。なお、一部新聞で原発については触れないようにと広島市が体験継承者に言ったというものがあつたが、事実だとしたらとんでもない話である。</u>	被爆体験の継承・伝承その他
C-9	<u>広島が平和都市として世界に存在意義をアピールするためにも、条例は必要だと思う。</u>	条例の必要性
C-10	<u>条例化の前に、市民を集めて「被爆地ヒロシマは対外的に何を発信すべきか」について意見交換の場を開いてはどうでしょうか？</u> <u>戦争・被爆体験のない世代が被爆地ヒロシマを担っていく主体に立つことなしに、制度を整えることに不安があります。</u>	(市民との意見交換の場の設定)
C-11	<u>核なき全ての国が、核兵器禁止条約に署名・批准することを呼び掛ける取組を行う。</u>	2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)
C-12	<u>伝承事業にもっと力を入れてほしい。意見を聞いてみればアイデアが出るはず。</u>	被爆体験の継承・伝承その他
C-13	<u>各自治体は平和に関する講座を設ける。各学校は平和教育を行う。</u>	平和意識の醸成 (平和に関する講座の開設、平和教育)
C-14	<u>広島市をアジアのジュネーブにする提案は良い考えだと思いました。積極的に取り組んでほしいと思います。</u>	(広島市をアジアのジュネーブにする提案への賛同)
C-15	—	
C-16	<u>条例？全く必要ない。作らないといけないものなんですか。疑問を持たざるを得ない。こういう物言いの裏には、既にひな形というものがあって、一応議論したという口実作りが見え見え。そして、条例作りの根底にあるのが、平和推進ポストの職員の多さ。市民の多くは、このポストと職員の多さは知らないだろう。平和暴走！</u> <u>これは、平和行政を隠れ蓑(みの)にした余剰職員のための受け皿作りにほかならないと見た。平和をだしにした今あるポストは職員を削減し、条例は不要とされたい。世の中、不要のポストを置けるほど豊かか。世情を読もう。一般社会だとリストラというのが常識(ニッサンや呉の鉄工所等)となっているが、平和推進をリストラの対策に充てているのは官製不正行政となる。監査の監査が要るよな。条例作りにうつつを抜かすより、市教委は、広島市の全ての女子生徒に体育の時間はボール投げ(それも男投げ)を必須とすることを教育目標として徹底させること(ソフトボールをさせること)。(次ページに続く。)</u>	条例の必要性

No	意見	備考
C - 16	<p>この発想は、野球の始球式に登板する女性の投球が捕手のミットにまで届かないという現実。これは戦わずして降伏（中国に手を上げるってことになります。）。平和は、何もしないということではありません。国の危機に際しては、銃の取扱いもあるだろうし、手りゅう弾投擲（とうてき）もないとはいえない。折り鶴なんかでは平和は来ないし、折り鶴という人は何国人だろうか。溜（た）まればごみ。ボールを投げるのが平和に寄与するということ？これは、国民皆兵になるのか。</p> <p>条例作り？こすい奴（やつ）の言いそうな保身の言い換え。それよりも、まず先にしなければならないことがあります。何をしなければいけないのか、平和以外のことは頭に無いらしい。第一、あなたらが爆弾落とされたことなんか知る由もないんだが。</p> <p>まず、被爆をしたということは、原爆投下を命じた所があるわけだが、その命じた所を知らない。そのことを蔑（ないがし）ろにして、資料館に明記されていない。そういう資料館はフェイクと言われても返す言葉はないだろう。原因の分からないことがあって、結果が被爆。普通、これはおかしいと疑問を持つべきところだが、その疑問を持たないことがおかしい。市の職員はどうかしている。この場所が特定されたのは、NHKが入手し、特番で報じた「原爆投下に関する資料」（題はおおむねそのようなもの）。出自は、米国公文書館の保管切れによる放出されものだけに、市職員の方には見てほしかったものであります。家に帰ってまでの拘束はしにくいですが、市のうたう平和とか原爆に関する報道はスルーすべきではなかったと思う。これを知らないということは、市からもらっている俸給は、生活するためだけのものであるのか。アーカイブスとかいう過去の番組を見ることはできるかどうか。NHK面倒くさがるんですよ。公共放送と言っていますけれども。ここには、あえて特定された所は書きません。別のアンケートで書きましたが。</p> <p>「平和」は言われるが、「愛国心」は言われることが少ない。愛国心は教えなくても国民なら持っているからなのだろう。そうしておこう。</p> <p>平和の推進というのが被爆後の事ばかりで、被爆に至る前の事が語られることはない。私は歴史の偶然のつながりを大切にしたいものだと思います。<u>被爆国の遠因の一端はハワイの真珠湾。ここを攻撃した空母航空部隊の指揮官は広島県人の元空幕長。アメリカに「リメンバーパールハーバー」の意識付けをし、その時（ま）いた種の何分の一かは、広島に原爆投下の下命を左右する働きがあったことは否めない（私見）。この原爆投下を下命した地がナッシュビルであり、ナッシュビルがなければ、広島は被爆はなかっただろうし、折り鶴なんか有りようもなかっただろうし、真珠湾がなければ、ナッシュビルでの原爆投下の下命もなかっただろう。こう書いていくと、広島が被爆を招いた招き猫だと言えなくはないよね。（次ページに続く。）</u></p>	<p>(広島への原爆投下の遠因)</p>

No	意見	備考
C - 16	<p>それに加えて、<u>広島は軍都であった名残みたいなものもあります。そういう分野に特化した産業のある土地柄。平和というが、戦車砲、自衛艦の備砲を精造している会社もあるんですよ。戦車砲弾は劣化ウラン弾に代わるかも・・・。日本はかつて米中露と戦争した歴史上唯一の好戦国と中国は言っているが、そういうことにしておこう。でも、厭戦（えんせん）をあおった平和であってはならない。それに、国民全員、押し付けられた平和なんか望んでいません。</u></p>	<p>(広島の土地柄)</p> <p>(平和の在り方)</p>

問3 平和の推進に関する自由意見

(1) 平和関係団体【A】

No	意見	備考
A-1	8月6日の平和祈念式典での平和宣言では、政府を始め、国内外に対し核兵器を始め核のない社会の実現に向けたより強いメッセージを送っていただきたいと思います。	(平和宣言)
A-2	—	
A-3	回答辞退 (本会の活動趣旨(広島市の観光振興)等に沿わないため)	
A-4	人権、平和に関する教員研修を初任研、6年研で行う。 現在、市内の小中学校では「平和ノート」を使って平和教育がなされていますが、それを指導する教員の平和への意識を上げておかないと形だけの平和教育になってしまいます。教員自ら平和への強い思いを持つことが子どもたちに強い平和への意識を培うことができるのではないのでしょうか。	平和意識の醸成 (平和教育)
A-5	—	
A-6	回答辞退 (本会は、被爆者の健診等を実施する団体であり、平和関係団体とは一線を画しているため)	
A-7	核兵器廃絶が実現するよう、広島市としても積極的に行動してほしい。	2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進
A-8	—	
A-9	—	
A-10	—	
A-11	広島市のピースボランティア以外の案内ボランティア団体への勉強会をしてほしい。(正しく伝えるために) 被爆建物や被爆遺構の保存に力を入れてほしい。特に被服支廠(しししょう)や広島城内の防空作戦室跡は残して、多くの修学旅行生などに見てほしい。	被爆体験の継承・伝承その他
A-12	① 日本国政府が核兵器禁止条約に署名、批准するために広島市としての積極的な行動を求める。 市長会議の署名とは別に、湯崎県知事や松井市長も署名したヒバクシャ国際署名をより前向きに発展していただきたい。 ② 核兵器禁止条約の採択は、被爆者の長年の悲願であり、まさに核兵器“終わりの始まり”の喜びの瞬間であった。市民・被爆者の喜びの表れとして、市庁舎、県庁舎に目に見える形で、垂れ幕を掲げていただく。まだ発効までには時が必要かもしれないが、今後世論を醸成するためにも、これからでも遅くないはずである。 ③ 世論作りとして、署名を広げることは小さな行動である。しかし、事業予算を見ると全く計上されていない。署名は平和推進のための大事な一歩である。広島市としては是非工夫して取り組む姿勢を見せていただきたい。	2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)

No	意見	備考
A - 13	—	
A - 14	<p>問1でも述べたように、<u>私たちは平和式典の在り方に疑問を持っている。その象徴が、安倍首相の平和式典参加だ。安倍首相に対して、「核武装論者の安倍首相には死者の眠る平和公園に足を踏み入れる資格がない」、「戦争のための改憲をやめよ」、「ヒロシマ・ナガサキを繰り返す戦争政治反対」を訴えている。</u></p> <p>我々は原爆ドーム前で、死者への反戦・反核の厳粛な誓いを集会で誓い、その証として黙祷（もくとう）を遂行する。</p> <p><u>厳粛な黙祷の後、原爆ドームを元安川沿いに進行し、元安橋までは肉声によるシュプレヒコールを行う。元安橋からは安倍首相の挨拶に合わせてハンドマイクを使って上に述べたようなシュプレヒコールを行っている。</u></p> <p><u>それに対して、本年の8月6を前に松井市長から式典中に「拡声器」からの声が聞こえるのは許せないと申し入れがあった。10月28日、松井市長はその要望書で、①拡声器を使用しない②拡声器の音量を下げる③デモのコースを変えるのいずれかを選べと最後通牒（つうちょう）的に通告を行ってきた。要点は、安倍首相に抗議する声が聞こえないようにしろというものだ。平和式典に抗議の音が聞こえ得ることが何故（なぜ）一方的に悪いものと決めつけるのか理由が明らかにされない。しかも、松井市長が行なった式典会場内の音量調査では、シュプレヒコールの音量は、蝉（せみ）の声にかき消されて測定できなかったという。一方的に行われた8月6日のアンケート調査で、式典とは関係のない拡声器からの音が聞こえたとする参加者がいることが、拡声器規制条例の根拠にされている。現状の平和式典に対する異論をデモ行進で表現することが、一体犯罪だとでも言うのだろうか？</u></p> <p><u>一旦条例ができれば、8月6日には安倍首相に対しては平和公園では抗議の声は誰も上げられないことになる。自衛隊明記や緊急事態条項を主要点とする改憲発議が現実問題になれば、声を上げる人々は必ず多数登場する。それら全てが、音量規制を口実に犯罪視されることになる。この問題は、独り本団体の問題ではなく、全ての市民の是か非かの議論が必要なテーマと言える。その意味で、現状のデモ主催団体の一つである86広島大行動実行委員会の判断だけで、条例制定の正統性が得られたかのように主張する松井市長のやり方は危険この上ない。オープンな討論の場を松井市長に求める由縁だ。</u></p> <p><u>また、このような手法で安易に条例ができることが前例になれば、憲法においていかなる留保条件もなしで最大の保護を得ている「表現の自由」は危殆（きたい）に瀕（ひん）することになる。表現の自由の剥奪こそ、戦前国民に猿轡（さるぐつわ）をはめて戦争に総動員した国家権力の武器だったからだ。検討委員会におかれては是非ともこの件についても議論を深めていただきたい。</u></p>	<p>(平和記念式典中のデモの音量の規制)</p>

No	意見	備考
A - 15	<p>(1) 原爆症の認定を求める被爆者の願いの実現に関して、全国で裁判が展開され、多くの被爆者が勝訴し、原爆症と認定されております。2009年には、当時の麻生総理との間で「確認書」に調印し、「今後、裁判で争うことのないよう協議して、その解決を図る」との約束が交わされました。しかし、今日に至ってもその約束は守られておらず、裁判で争うしか道が残されていないのが実情です。私たちは、高齢の被爆者に裁判を強いる国・厚労省に強い憤りを感じています。</p> <p>貴市議会より、高齢の被爆者の一日も早い救済をはかるために、国・厚労省に被爆の実情に目を向け、被爆者政策の転換を図るよう働き掛けていただきたく要請させていただきます。</p> <p>(2) 「黒い雨」降雨地域の拡大について、広島市として積極的に取組を進めていただいていますこと、まず、敬意を表したいと思います。</p> <p>現在、広島地裁において「黒い雨」訴訟が進行しており、「黒い雨」被爆者の認定その他における問題点、諸矛盾も指摘されています。</p> <p>市議会として、「黒い雨」被爆者の実態把握に努めていただくとともに、その救護・救済のために、国に対して、更に積極的に働き掛けていただくよう要請させていただきます。</p> <p>(3) それから、8月6日祈念式典当日の騒音に関する条例制定問題について、条例化に反対します。</p>	<p>(原爆症認定裁判)</p> <p>(被爆者政策の転換への働き掛け)</p> <p>(「黒い雨」降雨地域の拡大)</p> <p>(平和記念式典中のデモの音量の規制)</p>
A - 16	—	
A - 17	<p>被爆の実相を語り継ぐ「語り部」の活動を展開しているが、年々体験者が減少する中で、後継者をどう育成していくのかが、課題であると思います。平和学習を推進していくためにも、語り部、語り継ぐ人材の育成が急務だと思います。</p>	被爆体験の継承・伝承その他
A - 18	<p>バーバラ・レイノルズさんを始め、被爆者の願いを世界に伝えていった人々の働きについて、しっかりと次の世代に伝えてほしい（例えば、資料館の展示で）。</p>	2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進
A - 19	—	
A - 20	—	
A - 21	<p>被爆から74年が経過し、被爆の実相を伝え続けることの意味はますます大きくなる。学校や職場での平和学習でどれほど一人一人が感じているかは分からないが、実際に被爆者から体験を聞くことは非常に心に訴えるものがある。また、若者や子どもたちの考える自由な発想で平和の取組を広げ、それを発信していくことは重要である。平和の表現は様々であり、音楽や芸術、さらにはコンピューターを使った取組なども、今後一層広まっていくと思われる。</p>	平和意識の醸成
A - 22	<p>回答 1、2 で書いたとおりです。</p>	

No	意見	備考
A - 23	<p><u>草の根で活動する民間を活用することやその活動に対してのファンド制度を充実させることが必要であると考えています。現在、平和文化センターにはファンドがありますが、民間の全ての活動を網羅できるというわけではありません。</u></p> <p>以前、本団体は、広島市からの依頼でアルメニアの子どもたちから届いた平和メッセージを灯籠（とうろう）にして、8月6日に元安川に流すプログラムを行いました。現在、そのプログラムは、本団体に集う子どもたちや世界の若者が参加し、世界中から平和のメッセージが届く「平和の灯籠流し」として多くの人に親しまれるプログラムとなりました。15年続くプログラムとしてアルメニア大使なども参加いただいています。</p> <p><u>民間を活用することで、広島市ではできない新しい平和プログラムが生まれる可能性があるということを考えていただければと思います。</u></p> <p><u>また、これからの時代を担う子どもたちや若者の平和活動に投資していただければと思います。それは、あるべき方向へコントロールするものではなく、若者が自分たちで考えた平和活動を後押しするものであってほしいと思います。若者が考え、企画し、実践していくプログラムを後押しすることが、これからの広島市の平和活動を支える原動力になるのではないのでしょうか。そこにお金と時間と人を掛けることができるのが広島市だと思います。</u></p>	<p>(民間の活用)</p> <p>(子どもや若者の平和活動に対する支援)</p>
A - 24	—	
A - 25	<p><u>・日本では被爆者が高齢化し、戦争を体験し、知る世代が少なくなっている。他方で紛争当事国・地域から広島を訪れる人も増えている。戦争体験のない世代に体験が伝わり、紛争当事国・地域からの来訪者に、共感と、平和と繁栄の実現への勇気を与える場所となるよう、これからも取り組んでいただきたい。</u></p>	<p>平和意識の醸成 被爆体験の継承・伝承その他</p>
A - 26	—	
A - 27	<p><u>8月6日の式典がもう少し宗教的な情操、雰囲気が含まれたらとも思っています。長崎の式典や先日訪日されたローマ教皇様のメッセージのような雰囲気が欲しいです。</u></p>	<p>(平和記念式典の印象)</p>
A - 28	<p>回答辞退 (事務局の移転等により対応困難であるため)</p>	
A - 29	—	
A - 30	—	

(2) 平和関係の有識者【B】

No	意見	備考
B - 1	<p>協力の欠如は、特に平和活動家の世界の問題であるが、世界全体の問題でもある。<u>協力体制を大幅に広げない限り、人類は今世紀中盤までに絶滅、そうでなくとも確実に今世紀末までには絶滅するだろう。世界的協力体制は、我々の時代の存続に関わる問題である。核兵器問題も気候変動問題も、解決するには、前例のないレベルの協力体制が求められる。広島は、都市、NGO、国家、個人、団体と様々なレベルにおいて強固な世界的連合を築き、皆が同じ目標に向かっていけるよう、舵取り役となるべきだろう。個人的に私は、核兵器の廃絶を目指すことからスタートすればよいと思う。我々の直面する世界的問題の中でそれが一番簡単だからだが、何を目標とするかは、実はそれほど大事ではない。大事なことは、協力体制を示す連合を築き、協力運動を始めるということである。</u></p> <p><u>平和首長会議は、多大なる潜在能力を秘めた巨大ネットワークである。会長都市として、広島は、古今東西で最も強力な平和組織のリーダーになれるだろう。そうした連合を築くには、何百万ドルも費用が掛かるだろうが、平和首長会議ならそうしたキャンペーンも容易に行えるだろう。そして、もし広島がこの運動の火付け役となるなら、世界中から莫大な支援が寄せられるだろう。誰もが平和文化のリーダーを慕い、訪問したがることだろう。</u></p> <p><u>この連合への過程についても、関心がおありなら、喜んで詳細をお話しする。ここではただ、世界的平和文化のリーダーになることを真剣に考えていただくよう勧めるコメントをしているに過ぎない。これは、広島の評判と経済にとってだけでなく、世界にとっても良いことである。</u></p> <p><u>もし私がここで述べたアイデアに少しでも御関心があれば、詳しく御説明差し上げるので、どうぞおっしゃっていただきたい。</u></p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (世界的協力体制)</p> <p>(平和首長会議の活用)</p>
B - 2	—	
B - 3	<p>① <u>隣接の国立祈念館も満足しています。</u></p> <p>平和公園のほぼ全てを回り、参拝し、などをした後に、地下の泉から流れる水音を聞きながら、身体を休めるとともに、原爆の被害について改めて考え、「核兵器なき世界」の実現に向けた思いを新たにし、犠牲者の御冥福を祈ります。そして、御生存の被爆者を助ける術(すべ)がもっと進歩することも祈りつつ、「具体的にはどうすれば・・・」とも考えます。</p> <p>② <u>国際会議場に向う途中の少女像、その下に書かれた湯川秀樹博士のお歌も読みます。</u></p> <p>その他の平和公園内の施設にも満足しています。</p> <p>以上、特に意見はございませんが、多くの来訪者・記念碑参拝者が書かれないようなことを書きました。(①と②)</p> <p>③ <u>最後に、新しくなった平和資料館は「人の苦しみ(原爆を受けた後の)」に焦点が当てられ、素晴らしい展示になったと思っています。関係された方々の御努力・御協力に感謝いたします。</u></p>	<p>(国立平和祈念館)</p> <p>(平和記念公園(平和の像))</p> <p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p>

No	意見	備考
B - 4	<p>多くの意見がありますが、項目だけ羅列します。</p> <p>① <u>平和推進に関する研究領域、組織の再編、確立</u></p> <p>② <u>この件に関する市民的なオープンな検討の場の確保、運営</u></p> <p>③ <u>政策決定過程の議論は必ず議事録を残し、後の世からの検証可能とすべきでしょう。後から検証されることを拒否したり、責任が取れなかったりするような人は、政策決定過程に参加すべきではありません。ある意味では、全責任を懸けて議論に参加すべきです。もちろん、行政にすり寄ったり、歴史的検証に耐えないで簡単に自分の意見を変えたりするような学識経験者を排除すべきです。もちろん自由に発想し、既成概念に捉（とら）われない市民の意見は尊重すべきです。</u></p> <p>④ <u>JICA・UNITAR における研修生やインバウンドとして、多くの訪問者が広島を訪れ、世界から注目されていることを考慮し、平和政策の再検討を進め、積極的受入れ体制の整備が必要です。このことによって、世界に発信できるような政策が推進できるのです。</u></p> <p>⑤ <u>平和記念資料館のリニューアル後の検証、今後の課題の抽出と対応</u></p> <p>⑥ <u>平和推進課の担当において、現存被爆建物のリストがホームページに掲載されていますが、これに関連して、被爆建物の部分保存、象徴保存の現存リストが必要であります。是非とも作成してホームページとして掲載してほしいものです。平和推進課の組織的対応によれば著しく困難な作業・成果物ではないはずです。</u></p>	<p>(平和推進に関する研究領域、組織の再編、確立)</p> <p>(市民的なオープンな検討の場の確保、運営)</p> <p>(政策決定過程の議事録保存・検証)</p> <p>(来広者の積極的受入れ体制の整備)</p> <p>平和記念資料館管理運営・施設整備被爆体験の継承・伝承その他</p> <p>(被爆建物の部分保存、象徴保存の現存リスト化)</p>
B - 5	—	
B - 6	—	
B - 7	<p>これからの世界情勢は、とても大変な時代になるでしょう。</p> <p>日本人同士でも様々な意見があるところに、外国人の人々が日本に入ってくる訳です。<u>日本人、広島市民の考える平和と外国人の感じる平和とにズレがでない事を願います。</u></p> <p><u>「平和とは戦争がなく穏やかなこと」とあります。しかし、災害大国日本と思っていましたが、災害にしても世界規模となりそうですね。</u></p> <p><u>人口減少、経済格差、戦争責任、環境異変ほか様々な問題を、行政、議会、企業、市民（外国人含む）等で話し合い、知恵を出せるような平和社会の流れができれば次世代も少しは動きやすくなるかもしれません。</u></p> <p><u>平和とは、みんなの努力と和の心で成り立つものだと思っています。次世代が歩きやすい道を作るのが、現大人の責任です。</u></p> <p>私は、次世代にプラスとなる事に全力を尽くして次の世に行きたいと思っています。</p> <p><u>全世界の目標「SDG s」を柱にしてほしく考えます。</u></p>	(平和の定義)
B - 8	<u>被爆者が高齢化している今、被爆の記憶を若い世代へ継承し、平和の推進に向けた取組を担う次世代を育てていくことが特に重要である。</u>	被爆体験の継承・伝承その他 平和意識の醸成

No	意見	備考
B - 9	<p>38年ぶりにローマ教皇が広島・長崎を訪問し、「戦争に原子力使用は犯罪」と核兵器廃絶を世界へ向かって高らかにアピールした。</p> <p>これに先立つ今年の広島、長崎の平和宣言でまた、宣言のニュアンスが、やや異なった。</p> <p><u>〔広島平和宣言〕「…日本政府には唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約への署名・批准を求める被爆者の想いをしっかり受け止めていただきたい…」</u></p> <p><u>〔長崎平和宣言〕「…(私は市長として)日本政府に訴えます。日本は今、核兵器禁止条約に背を向けています。唯一の戦争被爆国の責任として、一刻も早く核兵器禁止条約に署名、批准してください…」</u></p> <p>昨年のノーベル平和賞授賞式で、受賞のICAN代表としてスピーチしたカナダ在住の<u>広島の被爆者サーロー節子さん</u>が今秋に訪日。広島や東京、大阪などでも講演した。<u>その中で広島市長と長崎市長の平和宣言を対比し、「広島市長には、自身の確固たる信念として日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めてほしかった」と述べていた。</u></p> <p><u>時の政権への“忖度(そんたく)”とも受け取れかねないようなスタンスを排除するためにも、ぶれない座標軸としての条例にしていきたいと切に願っています。</u></p>	<p>(平和宣言)</p> <p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p> <p>(条例制定に向けた姿勢の在り方)</p>
B - 10	—	
B - 11	<p>設問の間1～3をまとめたものとして、下記を回答します。</p> <p>区分されている「核兵器の廃絶」、「平和意識の醸成」、「被爆体験の継承、伝承」、「平和記念資料館 管理運営、施設整備」については更なる進展と強化を希望します。</p> <p><u>街づくりや生活空間の基盤である「広島平和記念都市建設法」に関する認識や意識にはやや弱さを感じています。今後の蓄積と推進と強化を希望します。</u></p> <p><u>「市民球場跡地」、「基町アパート」、「旧日本銀行広島支店」、平和大通の東の端「比治山公園」、平和大通り西の端「西広島駅周辺」、「平和西大橋」等は、「広島平和記念都市建設法」の理念の基に、総合的な計画、検討を必要とするテーマと考えます。</u></p> <p><u>これらのテーマの進展と結実は、項目「平和意識の醸成」において、住民にはもちろんのこと、国内外からの来訪者に対しても発信力は大きいと考えます。</u></p>	<p>【再掲】</p> <p>(平和記念都市建設法に関する認識等の強化)</p> <p>(平和記念都市建設法の理念に基づいた都市づくり)</p>
B - 12	<p>11月25日にローマ教皇と会談した安倍首相は、「日本は唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界の実現に向け国際社会を主導する使命を持っている」と述べました。であるならば、核兵器禁止条約を直ちに批准すべきです。</p> <p><u>広島市長は、平和首長会議のメンバーとともに、日本政府に対して、あらゆる機会を通して、核兵器禁止条約の早期批准を強く求めていくべきだと考えます。</u></p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p>

No	意見	備考
B - 13	<p>まず、被爆都市として平和を守るため数々の取組をしておられる広島市に敬意と感謝を申し上げます。そして、それらの取組が今後も継続されることを願います。ただ、平和という言葉がマスコミや行政により使われる状況、取り分け原爆という不条理について多く使われる状況で、個人として以前から気になっていることを以下にお願い申し上げます。</p> <p><u>平和を守るのは、人間の尊厳を守ることにほかなりません。戦争、ましてや原爆による戦争は、尊厳を一瞬で焼き尽くす究極の兵器で、平和の名の下に強く反対すべきことでもあります。ただ、平和を語るのに、戦争や原爆という政治の下で行われる巨大な破壊にのみ注意するだけではなく、我々のごく身近の日常での出来事にも注意を向けていただければと思う次第です。なかでも教育の場におけるいじめや差別は、痛ましさにおいて深刻であり、子どもの心に及ぼす影響は、一生続くでしょう。平和を愛する心には、このような不条理は許されるべきものではありません。平和都市を標榜（ひょうぼう）する広島市は、地域で育つ子どもが平和を愛する人間に育てる必要があります。そのためには、教育現場のみならず、地区コミュニティーの在り方にまで踏み込んで、この不条理を無くすための総合的な取組をいただければと存じます。</u></p> <p><u>いささか無理なお願いではありますが、次世代の平和教育の一番の基本として、このような取組を進めていただきたく存じます。是非よろしくお願いいたします。</u></p>	(平和の定義)
B - 14	○ <u>広島平和記念資料館をアメリカのスミソニアン航空宇宙博物館に対応する館として位置付ける気概が欲しい。</u>	平和記念資料館管理運営・施設整備
B - 15	—	
B - 16	<p>広島市の「平和行政」を象徴するのが、歴代市長が 1947 年から続ける（朝鮮戦争が始まった 50 年は中断）平和宣言である。それが今、どれだけ注目されているだろうか。</p> <p><u>平和宣言は、地元の中国新聞や、全国紙の広島向け紙面は大きく扱うが、東京本社・最終版朝刊ではほとんど載っていない。長崎市長の宣言と比べても注目度は年々、低下している。核状況を巡り、NHKは広島市長の声明をかつてなら全国放送していた。しかし近年は、長崎市長が全国枠で、広島市長は地元ローカルというのが珍しくなくなった。</u></p> <p>長崎市長による近年の平和宣言は、芥川賞作家で筆名は青来有一氏、原爆資料館長を 10 年から 19 年 3 月まで担った中村明俊さんが文案作成に携わった。地元関係者では周知の事実でもある。</p> <p>松井一実市長は就任した 2011 年以來、平和宣言に被爆体験談を引用し公募する。作成過程に詳しい市職員によると、その 1 編は市長親族の手記だった。体験談を選定し、現在は文案を作成するという「懇談会」メンバーには、(失礼ながら) 有識者とは決して言えない方もいる。非公開の議論では、市長の発言に率先して頷（うなず）いていると聞く。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	(平和宣言)

No	意見	備考
B - 16	<p>ある識者は 18 年の懇談会で「委員に若い世代を」と求め、19 年の会合に臨むと、事務局は「ふさわしい人がいなかった」と答えた。「市長が初回の会合からガンジーの言葉を引くと言いだして…議論する気にもなれなかった」と筆者に打ち明けた。</p> <p><u>広島市長による平和宣言が、核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求めることに積極的でなかったことで逆に注目された事態は、「平和行政」の弱さであり、形骸化の証左でもある。内容を詰める宣言策定の在り方を再考するためにも、市議会からの熱意ある働き掛けが求められていると思う。</u></p>	
B - 17	<p>私は思想、信条については各自の自由だと思いますが、<u>被爆体験を語る場で、強い思いがそうさせるのでしようが、政治的な考えを語る方がおられるのは残念な気がします。</u></p> <p><u>平和だからこそできることだとは思いますが、平和公園内を自転車でスイスイと走行したり、慰霊碑前をペットの犬と散歩する気持ちに違和感を感じます。</u></p> <p><u>私は平和公園の地表下の遺構に関しては、そっとしておきたいです。</u></p> <p><u>資料館の見学者の多さに対して、何らかの対応策をとらないと事故に繋(つな)がりかねないような危機感を持ちます。</u></p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他</p> <p>(平和記念公園(利用の仕方))</p> <p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p>
B - 18	<p>・『<u>平和首長会議</u>』</p> <p><u>この会議は、呼び掛けて 40 年近くになり、現在 7,800 もの都市が参加しており、世界的にも素晴らしい会議となった。</u></p> <p><u>でも、その成果というものが市民にはなかなか見えてこない。</u></p> <p><u>もっとその成果を検証し、市民に分かりやすいように報告すべきと思う。</u></p> <p>・『<u>都市像:国際平和文化都市</u>』</p> <p><u>都市像に「国際平和文化都市」を掲げている。</u></p> <p><u>国際都市:広島、平和都市:広島、文化都市:広島であるが、広島市民がどれほどこれらを理解しているか。</u></p> <p>・『<u>広島平和研究所</u>』</p> <p><u>広島平和研究所が設立され 20 年となった。</u></p> <p><u>ユニークな研究所で、初代所長に国連の明石康氏を迎えたほどである。</u></p> <p><u>この研究所は、広島平和行政の提言、広島が求めていく平和等の研究機関でもあると思う。</u></p> <p><u>平和研究所が出来て 20 年。十分なスタッフもそろっているが、今までどんな成果があったのか検証し、今後もっと市民に分かりやすい研究所になってもらいたいと思っている。</u></p>	<p>(平和首長会議の取組の成果の検証)</p> <p>(国際平和文化都市の理解度)</p> <p>(市立大学平和研究所の取組の成果の検証)</p>
B - 19	—	
B - 20	—	
B - 21	—	

No	意見	備考
B - 22	<p>○ 平和学習講座について</p> <p>被爆体験証言は別格として、<u>伝承者、朗読ボランティア、ピースボランティアのガイドについては受講者負担がないのに対し、平和学習講座（そもそもリストに掲載されていない）はなぜ、市内の学校は無料でそれ以外は受講者負担となっているのでしょうか。平和学習講座は被爆の実相を分かりやすく伝える講座であり、もっと広く周知すべきだと思います。伝承者の定時講話があるように、平和学習講座も定時で行えばよいのではないのでしょうか。特に、被爆の実相を聞いた上で資料館の展示を見ていただくことは、非常に有益であると思います。</u></p> <p>○ 資料館の再度の見直しについての提案</p> <p><u>5月に資料館の本館がリニューアルされ、展示内容が非常に充実しました。しかし一方で、その充実に伴って、来館者が本館を観ただけでエネルギーを使い果たし、その後の展示を観る力が残っていません。少し休憩して、頭や心を整理したり、リフレッシュしたりできるように、一度外に出ても再入場できるようにしてはどうでしょうか。</u></p> <p>例えば資料館で被爆の実相についての展示を観た後、広島市内にある被爆建物や被爆樹木などを巡るルートを案内し、広島の街を散策しながら別の角度からヒロシマを感じていただく。そして、リフレッシュしてから資料館に再入場し、次は広島の復興についての展示を見たり、被爆者の証言を聞いたりしていただけるような工夫です。<u>平和資料館を含めた一帯を一日滞在型の場にしていけるような、具体的なアイデアや企画について検討をする場を、設けていただきたいと思います。</u></p>	<p>平和意識の醸成 被爆体験の継承・伝承その他 (平和学習講座の充実)</p> <p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p>
B - 23	<p><u>平和式典の時に聴覚障害者の配置をきちっとしてほしい。</u></p> <p><u>前に見たい人が段々増えて座る所がない。</u></p> <p><u>通訳者が立って動きができない状態です。特に車イスで来る人が増えています。</u></p> <p><u>配置を増やしてほしいのです。</u></p>	<p>(平和記念式典の参列者の配席)</p>
B - 24	<p><u>アメリカ合衆国オバマ大統領の広島訪問以来、外国人のヒロシマ訪問が急増して、何度か資料館を我が家のゲストを連れて行くと、ここはこの国かしら?と思うほど外国人が団体を列をなしている光景に出会います。留学生や観光で広島訪問の方の多くは、広島滞在中、人々が優しく、風景も美しく、食べ物も美味しく、でも1番はとても安全な街ですと言われた事が忘れられません。日本人だけでなく外国人からも(安全、安心の街)と呼ばれ、交流が続くことはうれしい事です。</u></p> <p><u>安全で安心して暮らせること、これが平和なのではないでしょうか?</u></p>	<p>(平和の定義)</p>

No	意見	備考
B - 25	<p>e-learning 講座 gacco で「広島から平和を考える」が公開されています。</p> <p>https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+pt022+2019_04_r/about</p> <p><u>広島平和研究所の活動は、広島ではよく知られていると思いますが、動画配信も含めてネット上での発信を積極的に行い、全国的な存在感を高めるよう支援していただくことを期待します。</u></p>	(市立大学平和研究所の活動の支援)
B - 26	—	
B - 27	<p><u>修学旅行生の多いことに喜びを感じています。</u></p> <p><u>平和への思いを子どもの頃より学習することは、とてもいいことだと思います。</u></p>	平和意識の醸成 (平和学習)
B - 28	<p>現在、広島市総合計画の改訂が策定されています。</p> <p>注視していきたいと思います。</p> <p>地域での市民活動の推進等、御支援・御協力を今後ともよろしく願いいたします。</p>	
B - 29	—	
B - 30	—	
B - 31	—	

(3) 市民【C】

No	意見	備考
C-1	<p>私（81歳）は被爆体験伝承者研修を平成28年度より3年間受けました。講話内容は7月被爆体験者や広島市担当職員によりチェックを受け終了しました。しかし、委嘱状は来年4月になるとのことです。これを年1回、4月にまとめて行うのではなくきめ細かく例えば（終了翌月にするか、9月に行うかなど）していただきたい。高齢の私は少しでも早く活動したいのです。</p>	<p>被爆体験の継承・伝承その他</p>
C-2	<p>—</p>	
C-3	<p>今後も広島市全体で、<u>平和都市としての役割を担っていただけると光栄です</u>。何卒よろしく願いいたします。</p>	
C-4	<p>市民もですが、市議員の方々、市職員の方々には、ますますの御研鑽（けんさん）を積んでいただきたいです。先輩の先輩に公務員の方がおり、何千冊も読書をしたと言われてました。荒木、平岡、秋葉元市長、月村、碓井、平野、海徳先生たち昭和の市議員の方の著作も通読させて、いただいております。また、今のマスコミ的に言えば、市長派、反市長派といった垣根は、少なくとも恒久平和の議題に関しては、全くないと思います。</p> <p>さらに、市民にとって身近な図書館、公民館の建替えを希望したいです。</p> <p>気になることは、いわゆる<u>平和（図書館ボランティアなど含む）ボランティア</u>と言っても、<u>富裕層は限定されており、無給でいいのかと感じます</u>。</p>	<p>（平和ボランティアの処遇）</p>
C-5	<p><u>広島市長は、その肩書で世界が話を聞いてくれる立場にある。</u> <u>世界平和の達成のために、世界でもっと発言して、世界を巻き込む活動をしてほしい。</u></p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進</p>
C-6	<p><u>多くの人に少しでも広島に来て被爆の状態や話を聞いてもらえるよう呼び掛けてほしい。</u></p> <p><u>正しく理解して、一人でも多くの方々と共に、広島から核禁止条約発効への行動ができれば良いと思う。</u></p>	<p>平和意識の醸成 2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 （核兵器禁止条約の批准への取組）</p>
C-7	<p><u>水の都ひろしま推進協議会の委員は公選制にすべきです。</u></p> <p>現行のような行政側が自ら協議会委員を推薦し併せて行政職員も委員に選定する、それ以外は委員になることができない協議会は民主的ではありません。行政に市民の声を正しく反映させることにはなりません。広島市が立案した政策や計画を、自らが選任した協議会で審議するなどあまりにも非民主的な形式的なシステムと言わざるを得ません。平和公園近隣住民や被爆者団体等からも広く委員を募り選挙すべきです。</p> <p><u>2006年11月29日に広島で採択されたイコモスの「原爆ドームに関する勧告」を正しく受け止めるべきです。</u></p>	<p>（水の都ひろしま推進協議会の委員の公選制）</p>

No	意見	備考
C-8	<p>ヒロシマ市長として、国に対してははっきりと核廃絶、取り分け核兵器禁止条約について真っ先にいうのが義務であろう。また、今話題になっている「拡声器規制条例」等百害あって一利なしであろう。核抑止力にしがみつくとアベさんに対して抗議の声を押し潰して、国に対してははっきりものを言わないのはいかがなものか。サーロー節子さんに諭されたのではないですか。もっと地道に平和運動をしている市民団体と話をしたらと思います。</p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組) (平和記念式典中のデモの音量の規制)</p>
C-9	<p>修学旅行生や観光客の中には、平和公園が戦前から公園だったと思っている人がいると聞きました。平和公園のある辺りも戦前戦中は人が住み、商店が営みを行う街であったことを知ってもらうため、比較写真パネルなど検討してほしいです。被爆の実相を「昔の話」としないよう、現在と地続きの感覚を持ってもらう取組を望みます。平和公園の下に今も多くの遺骨や遺構があることも広く知られてほしいです。</p> <p>市は長崎と共に、政府に対してより強く核兵器禁止条約への参加を求めてほしいです。その態度を鮮明に表すことができるのは広島と長崎しかないと考えます。</p>	<p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p> <p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (核兵器禁止条約の批准への取組)</p>
C-10	<p>2020年までに核兵器廃絶を目指すための取組、2020年以降も市として継続してほしいです。しかし、本当に達成するためにはどのような方法がいいのかについて、再検討する機会を設けてほしい気もします。そのためにも、ここ10年の取組の成果と課題について、市から報告していただければありがたいです。</p> <p>平和の推進に関する事業への予算を減らさないでほしい。</p>	<p>2020年までの核兵器廃絶を目指した取組の推進 (再検討のための機会の設定) (取組の成果と課題の報告)</p>
C-11	—	
C-12	<p>資料館の見学をした後、多くの人が疑問を抱いたり、平和への希望を感じているはず。見学後、感想を語り合うミーティングの場をどうするか。</p>	<p>平和記念資料館管理運営・施設整備 (見学後のミーティングの場の設定)</p>
C-13	<p>まず、広島の平和教育は、日本が被害者という印象が強い。そうではなくて、いけないのは核兵器という存在である。そこをもっと教えなければならない。戦争は、いろいろな要因が組み合わさって起こるものである。ただ実状だけを教えられて、戦争はいけないで結ぶのではなく、その結論に至るまでの道筋を教えるべきだ。</p> <p>しかし、そういう学びを小学生で行うのは難しい。最近、中学校・高校での平和教育は薄くなっているように感じる。だから、より発達している中学校・高校での平和教育を盛んにするべきである。さらに、中高生でも参加できるような平和団体を作ってほしい。</p>	<p>平和意識の醸成 (平和教育)</p> <p>(中高生が参加できるような平和団体の設立)</p>
C-14	<p>国連職員の講演会を開く等、東京都では頻繁に行われている半ば当たり前のようなことが、広島でも当たり前になれば良いと思います。</p>	<p>(広島市での国連職員の講演会の開催等の常態化)</p>
C-15	—	

No	意見	備考
C - 16	<p><u>平和記念資料館管理運営・施設整備について一言。展示物に「原爆投下を下命した所はナッシュビル」と明記されない理由はなぜでしょうか。資料館でフェイクなのか。すでに証拠は割れているのにですよ。その証拠というのは、10年ぐらい前にNHK夏恒例の原爆の日の特集番組で、「原爆投下はナッシュビルで下命された」という内容のものを報じたから。資料の出所は米国公文書館。ここが保管切れになった資料を放出、それをNHKが入手し、放映したというものでした。だから、資料館がなぜ明記しないのか、隠すことが分らないのです。米国公文書館が放出したということは、この情報は自由に取り扱っても構わないということですよ。明記されないのは相手がアメリカだからか。プレスコードなる取り決めは、とっくの昔になくなっていくのに面妖（めんよう）なことだ。被爆者・市・国・米国、こうしたところと書いてはいけない裏取引があるのか？ 藉口（しゃこう）令、地位協定といったようなものが市長の申し送り事項にあるのか。被爆後75年。そろそろ本当のことを書いても良い時代だと思われないか。事実を知らせない自由は、知る権利を無視し続けるのか？</u></p> <p><u>ナッシュビルを（と）姉妹都市にしたい（なりたい）、その魅力、理由は、ブルーグラス&カントリーミュージックの本拠地とされているからです。今般の被服支廠（ししょう）の活用問題で、被服支廠（ししょう）とナッシュビルのランドマーク1872年建立（元教会だから）のコンサートホール、「ライマンオーディトリウム」（公会堂）の佇（ただ）まいがレンガ造りでよく似ております。ここがブルーグラス&カントリーのメッカ。だから、今、被服支廠（ししょう）を補強改修し、ライマンを模したコンサートホールで再生させようという案を県に提出しました。被爆を仲立ちにリンクしようということ。今ある姉妹都市の中で文化の香りのする所はないように見受けられます。これは、広島にも文化といえるものはないゆえ。あると言える文化人・有識者、顔を晒（さら）して反論できる人はいないだろう。それくらいすごいと言い切れます。もし、姉妹都市になったら、使節交換ということになりブルーグラス&カントリーのスターが使節として来広。そして、8.6原爆投下を下命した街（ナッシュビル）の特使（バンド）が式典に参列、献歌で祈りのゴスペルをアカペラで演（や）る。ここに落とされた側と落とされた側の手打ちがなったことになります。被団協などこんな考えは思い浮かばないだろう。被爆者を慮（おもんばか）るのはいいとしても、以上でも以下でもない。輸入レコード店では、広島で全く人気のないものには店のスペースは割かないが、大多数で楽しめる商売音楽と小編成で楽しむバックポーチ音楽の差。ブルーグラスは究極のアコースティックミュージックといわれている。Martin、Gibsonの世界。きのこ雲を作った街を知らず平和を語るな。その名ナッシュビル。</u></p> <p>（次ページに続く。）</p>	<p>平和記念資料館管理運営・施設整備</p> <p>（ナッシュビルとの姉妹都市提携） （被服支廠（ししょう）の活用方法）</p>

No	意見	備考
C - 16	<p>きのこ雲を作ってこいとエノラゲイに命じた街というのは、ナッシュビルという街です。その街は、ある時、広島市に姉妹都市になってくれないかと申し込んできましたが、市は断った。憎しみしかなかったのが当然です。しかし、落とした所と落とされた所の縁は消し去ることはできません。いずれは・・・ところが、この断ったことが市には目がなかったことになりました。逃がした魚は大きかったようです。広島で市政にタッチされている有識者とされている人は、何で助言もせず流されたのでしょうか。謹厳実直、趣味など持ち合わせなんかない石部金吉、朴念仁だった、風流とか粋を解されない人だったのだらう。これでは、文化を育むなど、無縁の焼け野原。文化都市を返上しなくてはなりません。コロナの大邱なんかと姉妹都市なんですね。(脱線) 恥ずかしい。お見舞いをするってか。見る目がないのはここでもだよ。</p> <p>ナッシュビルについても適確な分析がなされなかった(無知丸出し)。この地こそはカントゥリーミュージックの本拠地ということは、世界の常識なんですよ。ミュージシャンの大半はこの地でレコーディングしたい欲望に駆られる所なんです。なぜなのかと言えば、腕のいいサポートしてくれるミュージシャンが大勢いて、思いどおりのアルバムの製作が可能な所だからなのです。ナッシュビルは、テネシー州の州都、余り知られたものではないが、「テネシーワルツ」はよく知られている唯一のところでしょう。戦後のある時期、日本でもラジオのヒットパレードで、江利チエミの持ち歌としてよく耳にした記憶はあります。アメリカ本国では、パティーページがカバーして大ヒット。そのため、テネシー州の州歌になっているそうです。あるジーンズ会社もこれを使っていたが。ナッシュビルを認識してもらうには、どのような人たちがナッシュビルをタイトルとしてアルバム作りをしているのか、手元にあるものから例を挙げるなら、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ BOB DYLAN “NASHVILLE SKYLINE “ (CBSSONY SNOP - 50095) RECORDED ‘69 ○ RYOKO MORIYAMA IN NASHVILLE (PHILIPS FX-8003) RECORDED ‘69 ○ NASHVILLE “THE EARLY STRING BAND” 1925~1934 (COUNTRY 541) PRESS ‘76 <p>更にナッシュビルを意識させられるのは、アメリカでカントゥリーを歌わないとビックネームではないのです。全米のマーケットの半分はカントゥリーなんですから、好き嫌いは二の次で演(や)らざるを得ません。</p> <p>でも、次に列記するのは本当に好きな人のアルバム</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ELVIS PRESLEY “ELVIS COUNTRY” (RCASHP-6182) ‘71 ○ CONNIE FRANCIS “SINGS GREAT COUNTRY HITS” (POLYGRAM SPELP-62) ‘62 ○ JOAN BAEZ “COUNTRY MUSIC ALBUM” (VANGUARD VSD 105/106) <p>(次ページに続く。)</p>	

No	意見	備考
C - 16	<p>と書いてみましたが、このレベルの広島文化人なんていないのではありませんか。</p> <p>平和推進に折り鶴がイメージとして強いようだが、これって放送局を使って印象操作をしているのではないのか。都合の悪い事実は知らせない自由があるという方法を使って。でも、平和を行き過ぎる行政は、核装備賛成派という人たちによってストップが掛かるのを祈念している。いけませんか、広島でこのような文章は。</p> <p>私はブルーグラス、カントリー、フォークミュージックのリスナーです。NPTとか折り鶴とかには興味はありませんが、被爆建物とか被服支廠(ししょう)の活用の問題となると、趣味の範囲内感が浮上し、私も一言言わせてもらいたいという気持ちが強くなりました。</p> <p><u>趣味の音楽の本拠地と原爆投下を下命した街が一緒と分かったのが10年くらい前、その街がナッシュビルであります。そして、演奏するランドマーク、コンサートホールの名はライマン公会堂。これが今、話題となっている被服支廠(ししょう)の佇(たたず)まいのイメージと類似。さらに、過去に姉妹都市案があったことを踏まえると、これは一気に姉妹都市を実現させ、被服支廠(ししょう)をライマン公会堂に模し、補強改修し、コンサートホールとして再生させ、ライマンに出演しているバンド等を招へいし、公演させるというのが夢なんですよね。それは、30年も前にやっていた事の再チャレンジなんだけれども。一流バンドの来広を手掛けておりましたが、リタイア。コンサートホールができれば、ナッシュビルに関わるブルーグラス等の専門音楽の喫茶兼レコード店を付設すればよろしいのでは。レコードは5,000枚以上あります。折り鶴に被服支廠(ししょう)は広すぎます。それに、被爆がなければ無かった、起こり得なかった事象。歴史の末端でしょう。</u></p> <p>30年も前に交流のあったバンドの姿をコピーでお届けします(※別添資料略)。My dreamの叶(かな)うだろうか、選者のレベルに期待するしかない。これって、売り込みになるのか。</p> <p>折り鶴対ナッシュビル、勝つのはどっち？</p> <p><u>テレビで報じられるお涙ちょうだいのストーリーから、核はいけない、怖いという方向に話を振って、だから核兵器禁止条約とかいうものへの意識誘導操作。禎子をだしに使うな。よく仕組みられているが、現実を見据えたものではない。広島、長崎以後、核を使った戦争はありましたか。ないんですよ。使う使うと言うだけで、実際には言葉で脅すだけのもの</u>でしかなかったわけです。使え(わ)ないものを作る必要はないと言う人もいるが、家庭生活における貯金とか保険みたいなもので、<u>国家の保険に当たるものが核装備。折り鶴から平和というよりも、核装備しているから平和という方が理にかなっているでしょう。</u></p> <p>(次ページに続く。)</p>	<p>(ナッシュビルとの姉妹都市提携) (被服支廠(ししょう)の活用方法)</p> <p>(核兵器禁止への意識誘導操作) (核使用の現状) (核装備の意義)</p>

No	意見	備考
C - 16	<p>それに核を持ってしまった以上、簡単に手放すと思いますか。手放さないでしょう。貯金や保険の解約にしても、何かそれに代わるものがあるばの話であって、何の保障もないのに解約など有り得ません。核兵器廃絶も、大小の差はあれ、道理は一緒です。</p> <p>でも、<u>核兵器を保有していなくても、核兵器保有国と話し合えるきっかけを作れる可能性のあるのは、原爆投下を命じた所との姉妹都市になること。</u>これに尽きると思います。<u>多くの人が折り鶴をイメージされているが話合いに持っていける効力は持ち合わせていない。だが、ナッシュビルとの姉妹都市になればそれは叶（かな）うと思う。</u></p> <p>ナッシュビルとの姉妹都市、落とす所と落とされた所のリンクとなれば、逃げるわけにはいかないだろう。こういう読みがないから、折り鶴というお涙ちょうだいに振られてしまうが、これが落とす側の作戦であって、ナッシュビルを攻められると話に応じざるを得なくなる。アメリカの弱点は、非人道的だと言われるのを嫌う。だから、マスコミを使って折り鶴に意識を向けさせ、あえてナッシュビルを表に出さない作戦が今のところは成功していると読める。弱点を突こう。誰が考えても、この対比の優劣はナッシュビルに軍配が上がるだろう。しかし、広島人で、よくテレビなんかの言っていることを信じますね。思考が誘導されているのが分かっていない人ばかり。</p> <p>本気で平和を考えているなら、田母神先生のおっしゃる作らなくても「作る」と言うだけで、世界はびびります。あの穏健な日本人が言うのですから。こういう口で戦う戦争で負けてはいけません。受けではなくて、攻めでなくては。</p> <p>実際、日本は核大国と、堤未果女史はのたまう。何と 1,000~5,000 発分の核兵器に転用できるプルトニウムなるものがあって、頑張れば 1 年で目鼻が付くとか付かぬとか。</p> <p>折り鶴と言ったり思ったりしている人は善良で扱いやすい。戦う前から負けているじゃない。恥ずかしくもなく、平和宣言だと。あれは、ばかとか売国奴とか、やりやすい街だ、広島は。今は核よりコロナ。大邱（姉妹都市）からの感染に気を付けよう。仲良いのだろうが。</p> <p>なぜナッシュビルが資料館に明記されないのか、いろいろと書いていくうちに見えてくるものがある。推理すると、アメリカは非人道的と言われるのを極端に嫌う。だから、著作権うんぬんするのは、この裏返し行為だろう。だから、一度はナッシュビルから姉妹都市になろうと声掛けをしたが、後になって考えれば、断られて良かったという結果になったと思っているだろう。</p> <p>(次ページに続く。)</p>	(ナッシュビルとの姉妹都市提携)

No	意見	備考
C - 16	<p>そして、一つの逸話が発生していたのを広めることで、非人道的行為の元、原爆投下を攻められなくて済むから、このストーリーを押し出すことを決め、以後、この折り鶴信仰をマスコミを通して拡散させ、今もこの話は、多くの人により学習されるまでになった。だから、こうまでやられると大元ナッシュビルは野放し。アメリカは高笑いの図というものなのです。</p> <p>真珠湾と広島。不意撃ちと非人道的。不意撃ちというのが軍艦への攻撃であるのに対し、広島への空撃は非戦闘員への攻撃。誰が考えても、非難されるのは非人道的なものになる。攻（責）められたら困る可能性があるものを攻めないと。ナッシュビルになることが最高の攻め手となると思う。攻めるということはどうするのかといえば、姉妹都市にしてしまうことだ。</p>	